

富山県におけるプロスポーツと 総合型地域スポーツクラブに関する一考察

教育学部生涯教育課程生涯スポーツ専攻

3051-5105:伊東 悠太郎

指導教官:横山 義昭

・プロスポーツチーム

累積赤字
1億円超

bjリーグ(バスケットボール):富山グラウジーズ

3年目 7勝37敗 イースタン地区最下位

2期連続
赤字

BCリーグ(野球):富山サンダーバーズ

2年目 前期・後期・北陸地区・BCリーグ優勝

年間チケット収入
900万円

JFL(サッカー) : カターレ富山

1年目 18勝8敗7分 3位 来季J2昇格

観客動員数増加が必要

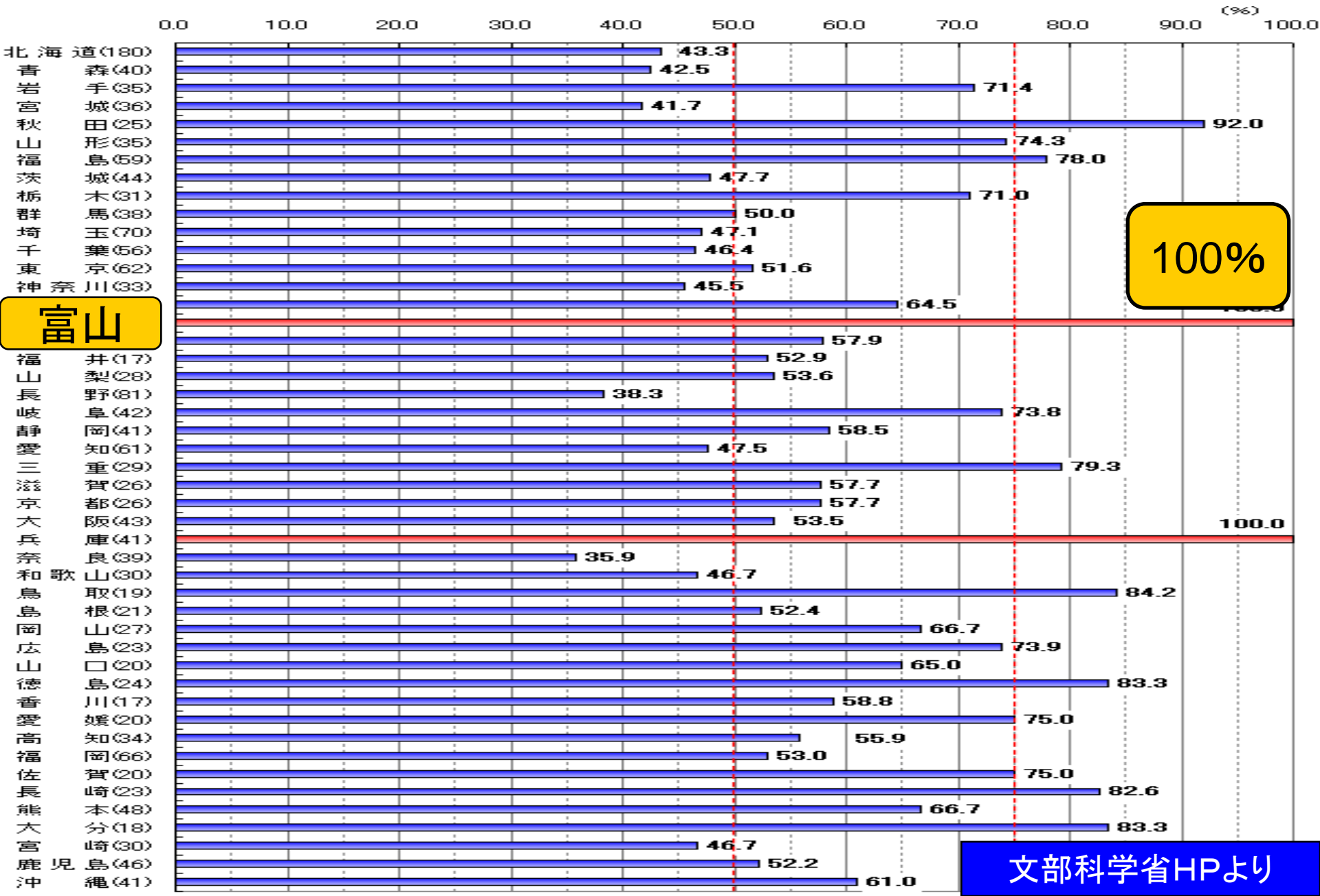
・プロスポーツの現状

平均観客動員数(昨シーズン)

3チーム合計	2,112人
カターレ富山	4,306人(Jリーグ平均13,086人)
富山サンダーバーズ	1,459人(前年2,005人)
富山グラウジーズ	1,616人(bjリーグ平均2,299人)

- ・総観客動員数(3チーム合計): 158,420人
→富山県の全人口の約14,4%
- ・富山グラウジーズ
→今期7,000万円の**赤字**→累積1億円超の**赤字**
- ・富山サンダーバーズ
→2期連続**赤字**→今期も**赤字**の可能性
- ・カターレ富山
→年間チケット収入900万円(J2平均は2億円)
→平均有料入場者数800名

総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型）設置率



100%

富山

文部科学省HPより

・総合型の現状

- ・全15市町村(旧35市町村)に56団体
 - 設置率100%、兵庫と並んで1位
- ・18団体(32.1%)がNPO法人格を取得
 - 静岡県は10団体(26.3%)
- ・12団体(21.4%)指定管理者制度
- ・10団体(17.9%)が自主財源率100%
 - 静岡県は掛川スポーツクラブのみ
- ・平均自主財源率82.8%(前年78.5%)
- ・会員数38,107人(前年比107%)
- ・富山県の全人口の3.5%(前年3.2%) > 民間SCは2.8%
- ・55団体の総予算: 7億7,289万521円(約1億円規模の総合型1団体を除く)

・目的

プロスポーツ

総合型

連携

強みやメリットを高め合う

弱みやデメリットを補い合う

富山県のスポーツ界の更なる発展

・研究方法

聞き取り調査

- ・富山県教育委員会スポーツ・保健課生涯スポーツ係(以下、県教委)
- ・富山県広域スポーツセンター(以下、広域SC)
- ・株式会社富山サンダーバーズベースボールクラブ(以下、サンダーバーズ)
- ・NPO法人富山スポーツコミュニケーションズ(以下、TSC)

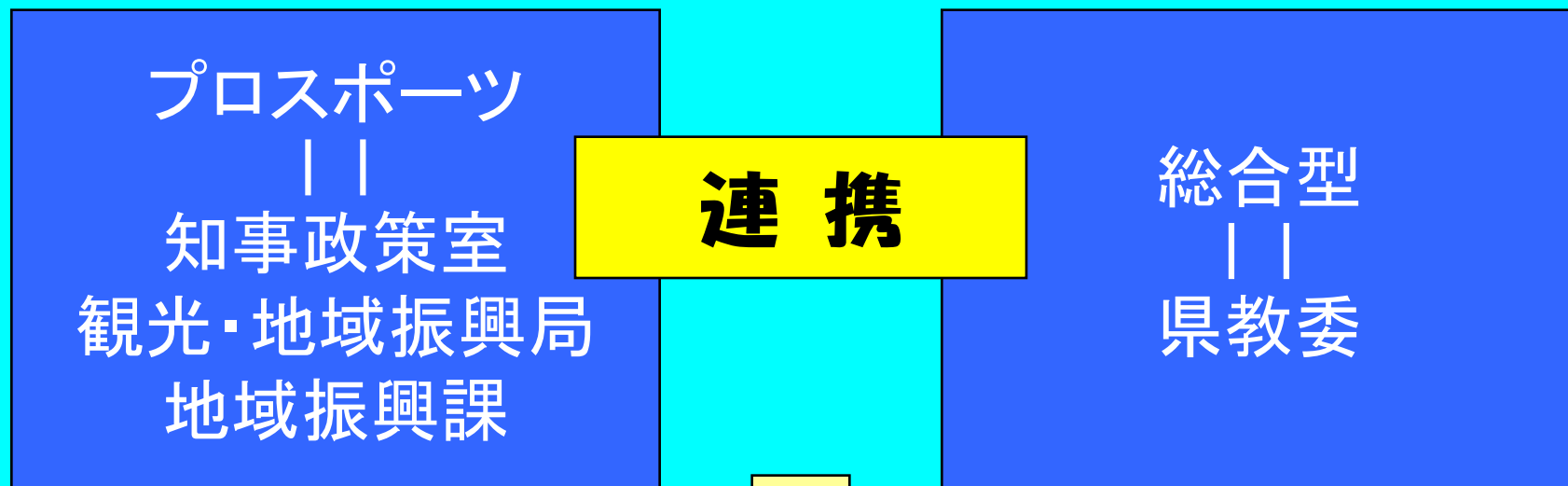
アンケート調査

- ・総合型地域スポーツクラブ担当者
- ・総合型地域スポーツクラブ参加者
- ・プロスポーツ観戦者
 - 富山サンダーバーズ観戦者
 - カターレ富山観戦者
 - 富山グラウジーズ観戦者

結果及び考察

・県教委

・プロスポーツと総合型の連携について

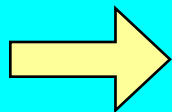


連携の支援をしていく考えがある

・広域SC

・総合型の現状について

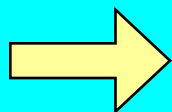
会員数38,107名(平成20年7月1日現在) = 富山県の全人口の約3.5%



総合型が
根付いているとは言えない

・今後の運営・事業計画について

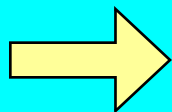
「スポーツ振興基本計画」は平成22年度で計画が終了



広域SCが
平成23年度以降どうなるかは不明

・プロスポーツと総合型の連携について

一部では行われており、更に相互の「働きかけ」が必要である



推進していくべきである

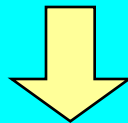
・広域SC

・連携する場合の課題

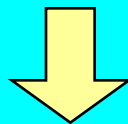
広域SCの役割



総合型の設立や育成、運営の支援



窓口にはなり得ず、中心的な役割も果たせない



ex) 南砺市総合型連絡協議会



活用できるのではないか

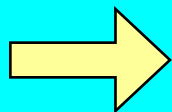
・サンダーバーズ

・プロスポーツと総合型の連携について

プロ

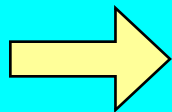
スポ少、部活動、ユースチーム、企業・社会人チームetc...

総合型



富山県オリジナルの構想が必要

一部では、単発の企画や教室といった連携が行われている

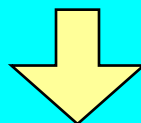


定期的な連携にしていく必要

・サンダーバーズ

「どこか」が中心的な役割を担って、
プロスポーツと総合型の連携を進めていかなければならない

広域SC？ TSC？ 富山県体育協会？
それとも？



広域SCの機能や権限、役割を
部分的、段階的に移譲した上で、

TSC

が中心的な役割を担うことが望ましい

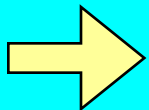
・TSC

・プロスポーツと総合型の連携について

富山県のスポーツ界の理想形の一つ



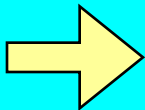
プロスポーツチームの下部組織の充実が必要



プロスポーツチーム総合型地域スポーツクラブの設立

・連携の際のTSCの役割について

実績を積み重ねた上で



- ・広域SCの機能を担う
- ・連携の中心的な役割を担う

アンケート調査

・回収率

(1) 総合型担当者: 46団体中、29団体(63.0%)

(2) 総合型参加者: 160名中、112名(70.0%)

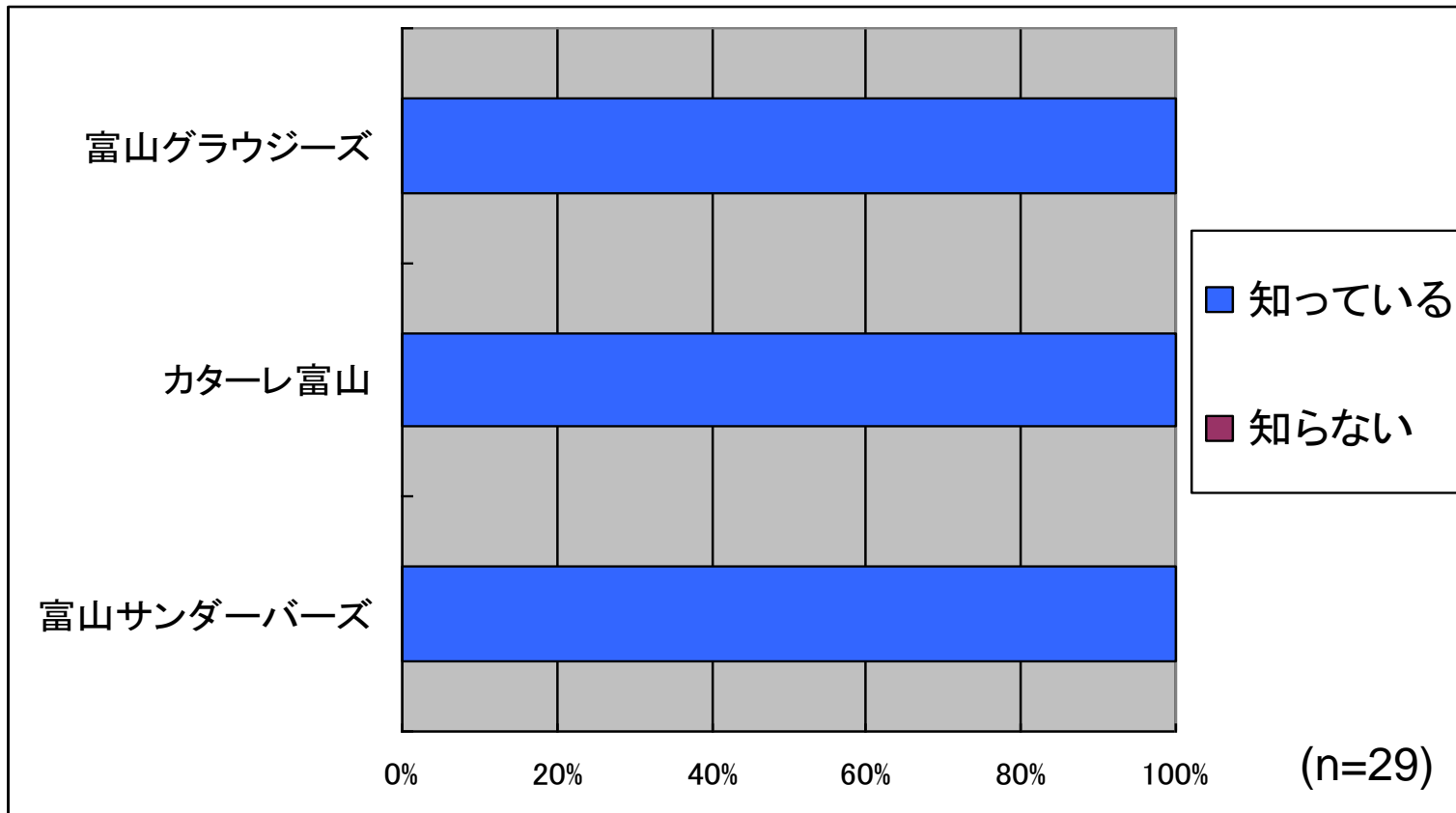
NPO法人 SEIBUスポーツクラブ(以下、砺波)	17名
庄川スポーツクラブ アユーズ(以下、庄川)	17名
NPO法人 ふくのスポーツクラブ(以下、福野)	25名
NPO法人 クラブJoy(以下、城端)	25名
NPO法人 おやベスポーツクラブ(以下、小矢部)	28名

(3) プロスポーツ観戦者144名中、115名(79.9%)

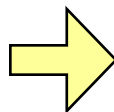
カターレ富山	富山サンダーバーズ	富山グラウジーズ
71名	21名	23名

(1) 総合型担当者

・プロスポーツチームの認知度について

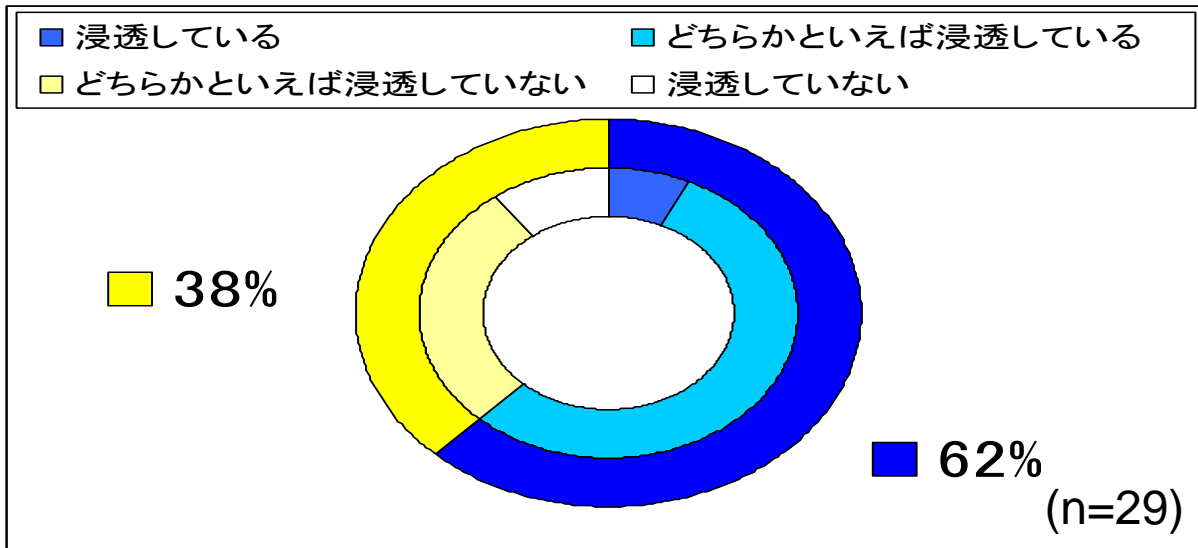


「知っている」が有意に多い
($P < 0.001$)



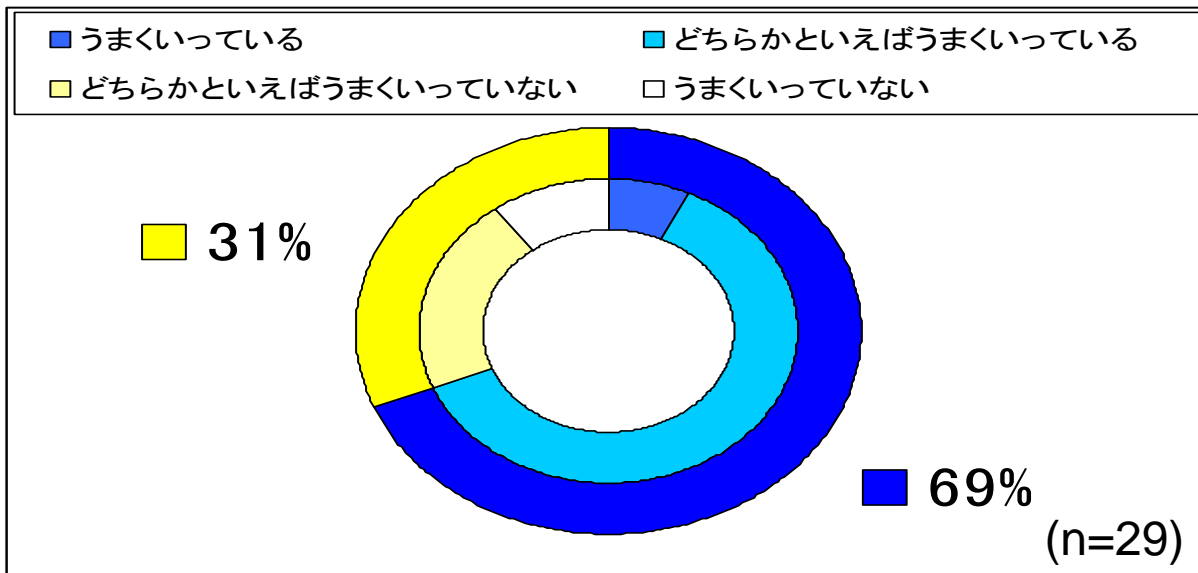
連携の可能性はある

・総合型の浸透度について



「浸透している」群が多い傾向

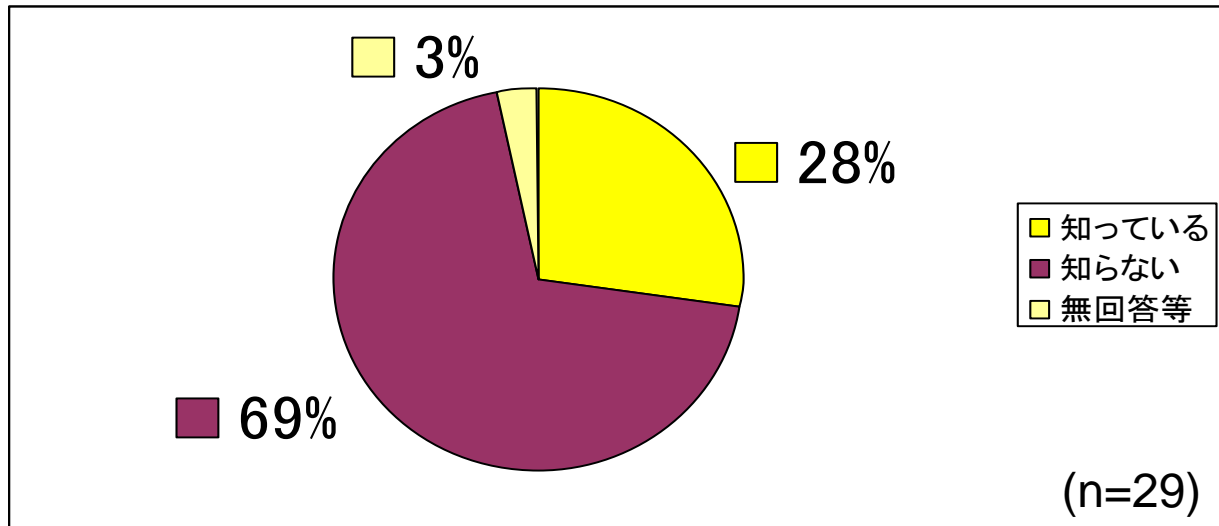
・総合型の運営状況について



有意な相関
($p < 0.05$)

「うまくいっている」群が有意に多い
($p < 0.05$)

・「ガンバレ富山応援バス」の認知度について

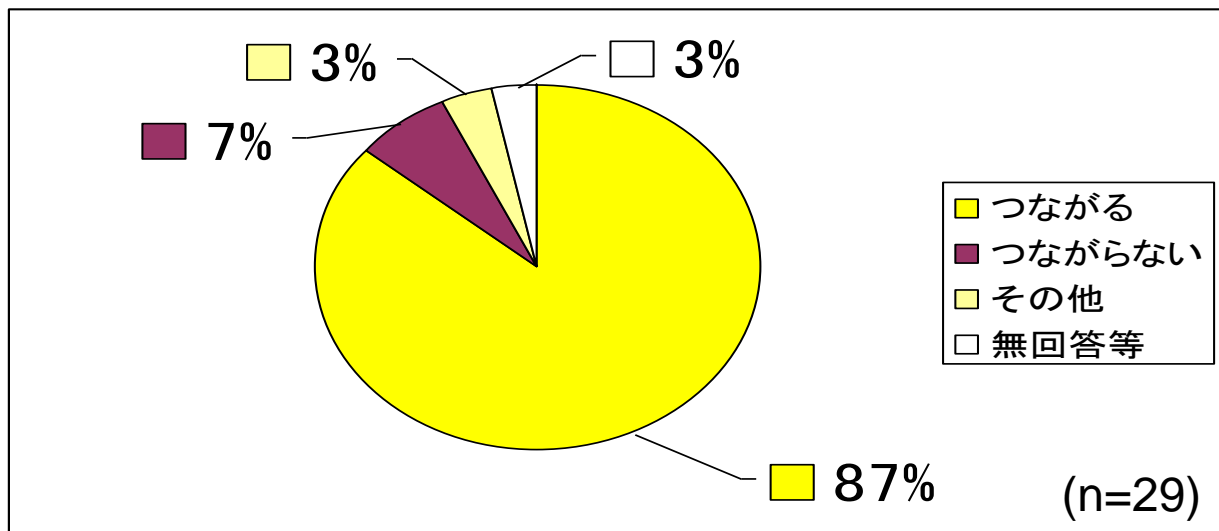


「知らない」が
有意に多い

($P < 0.05$)

積極的なPRが必要

・この制度が「見る」スポーツの振興につながるかについて

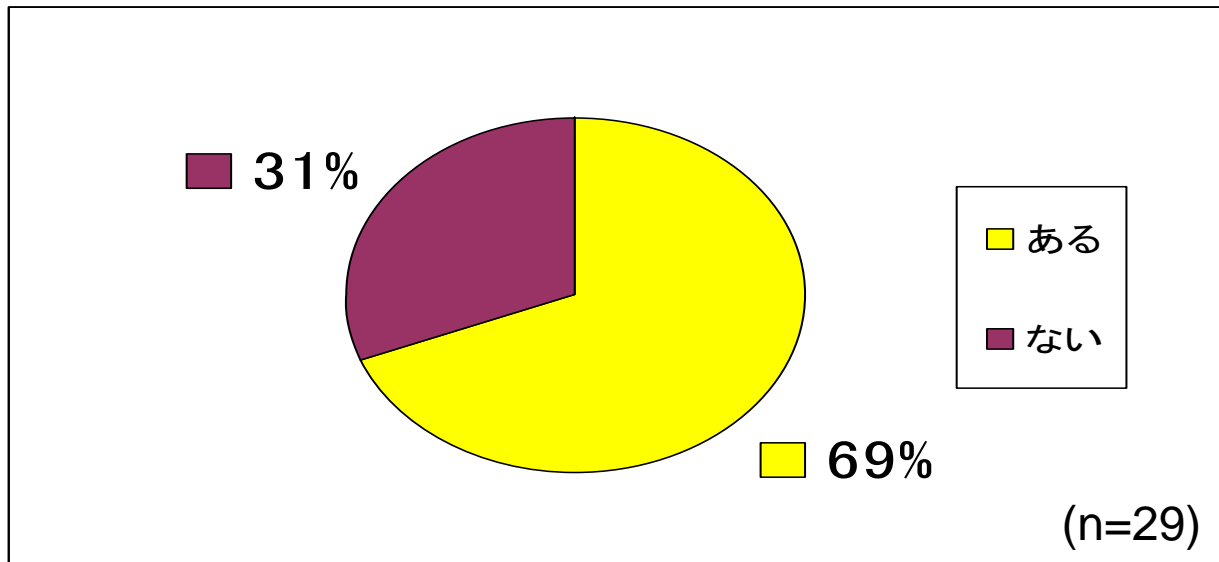


「つながる」が
有意に多い

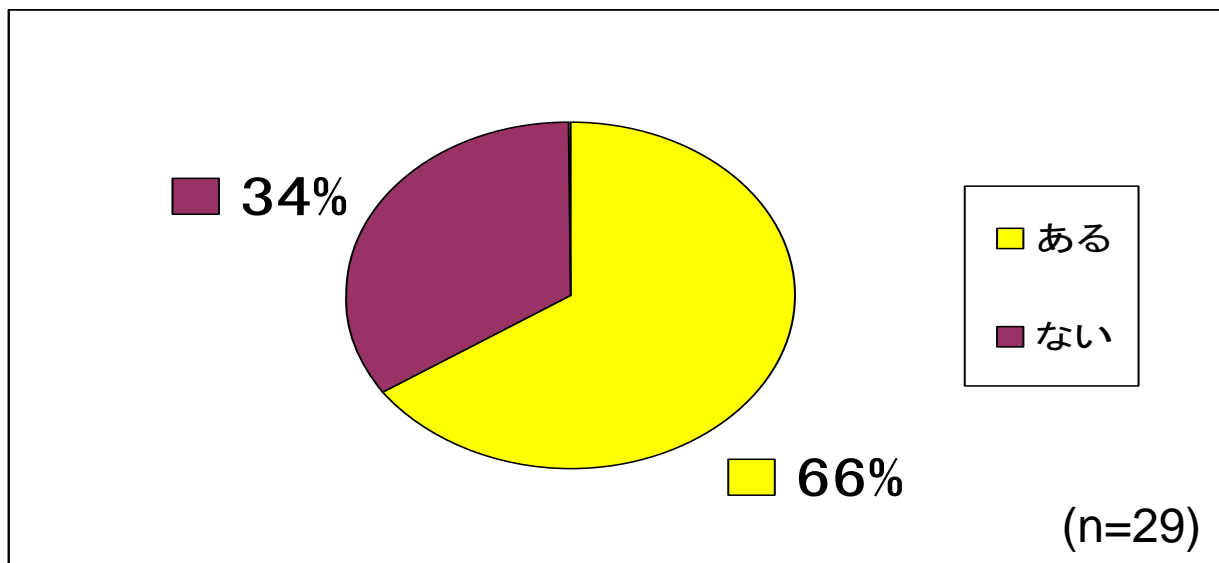
($P < 0.001$)

有効活用すべき

・「見る」スポーツの設置状況について



・「支える」スポーツの設置状況について

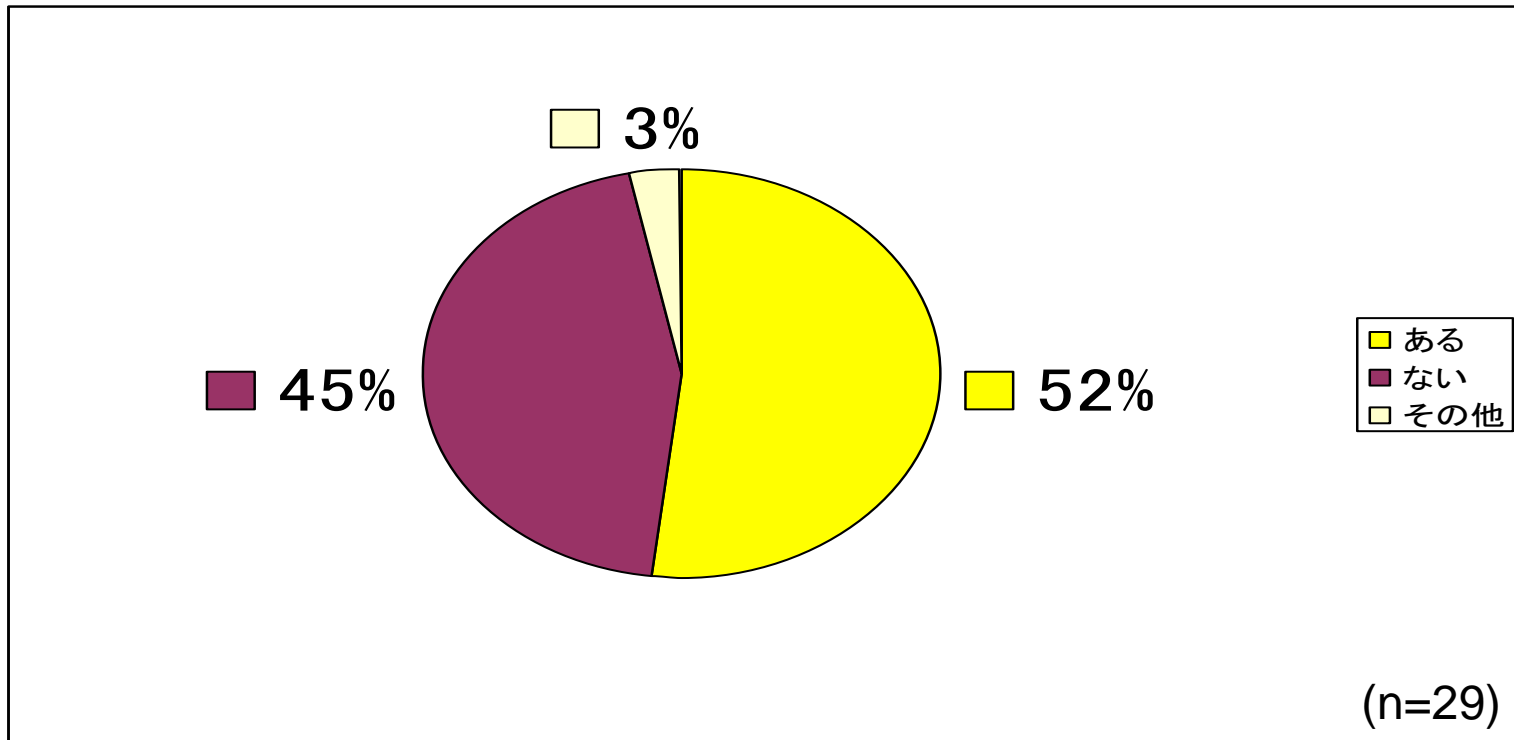


「ある」が
有意に多い
($p < 0.05$)

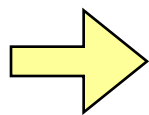
更なる
充実が
必要

「ある」が
多い傾向

・「見る」スポーツの必要性について

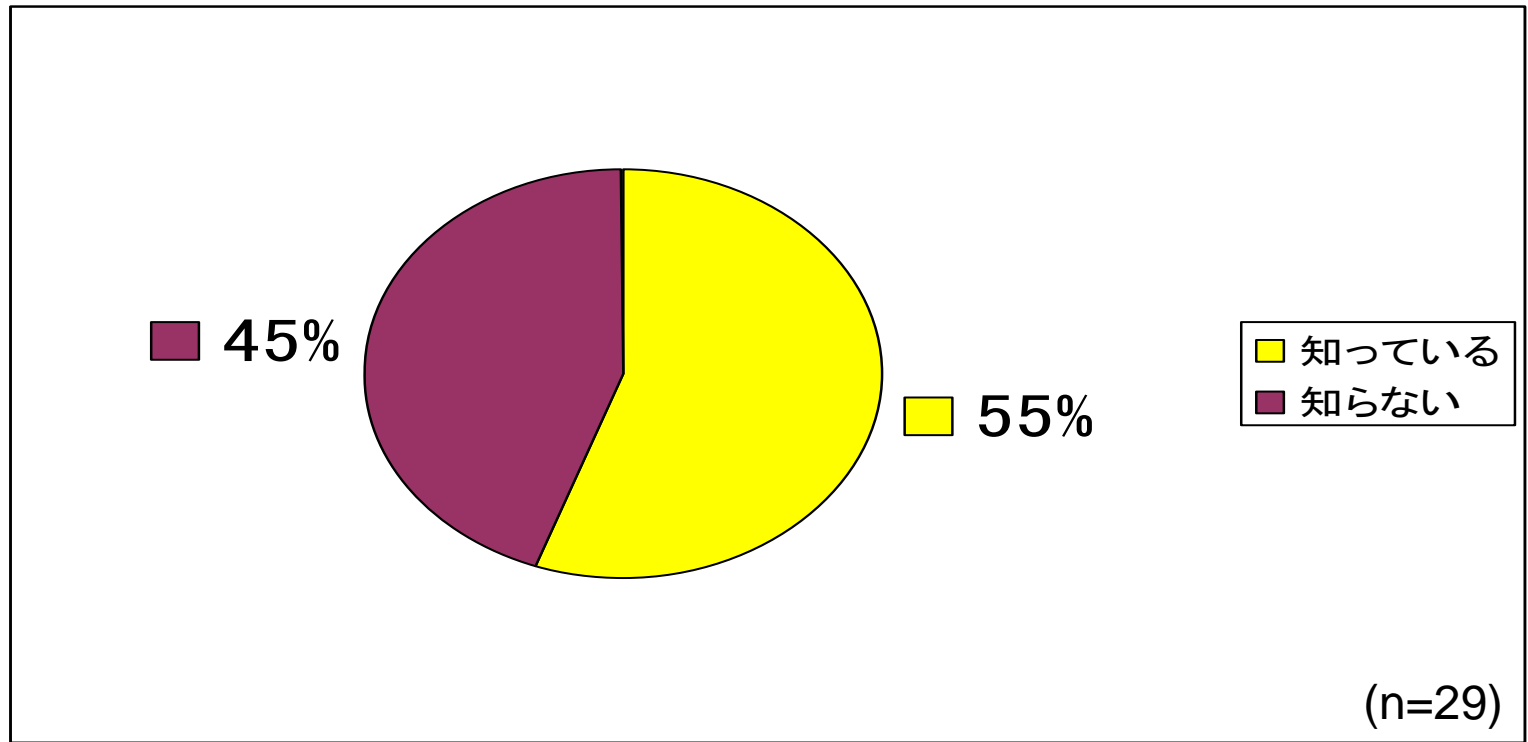


顕著な傾向は
見られない

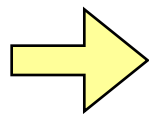


「必要がある」と
回答した団体から
プロスポーツと連携を
図っていくべき

・プロスポーツボランティアスタッフ募集の認知度について

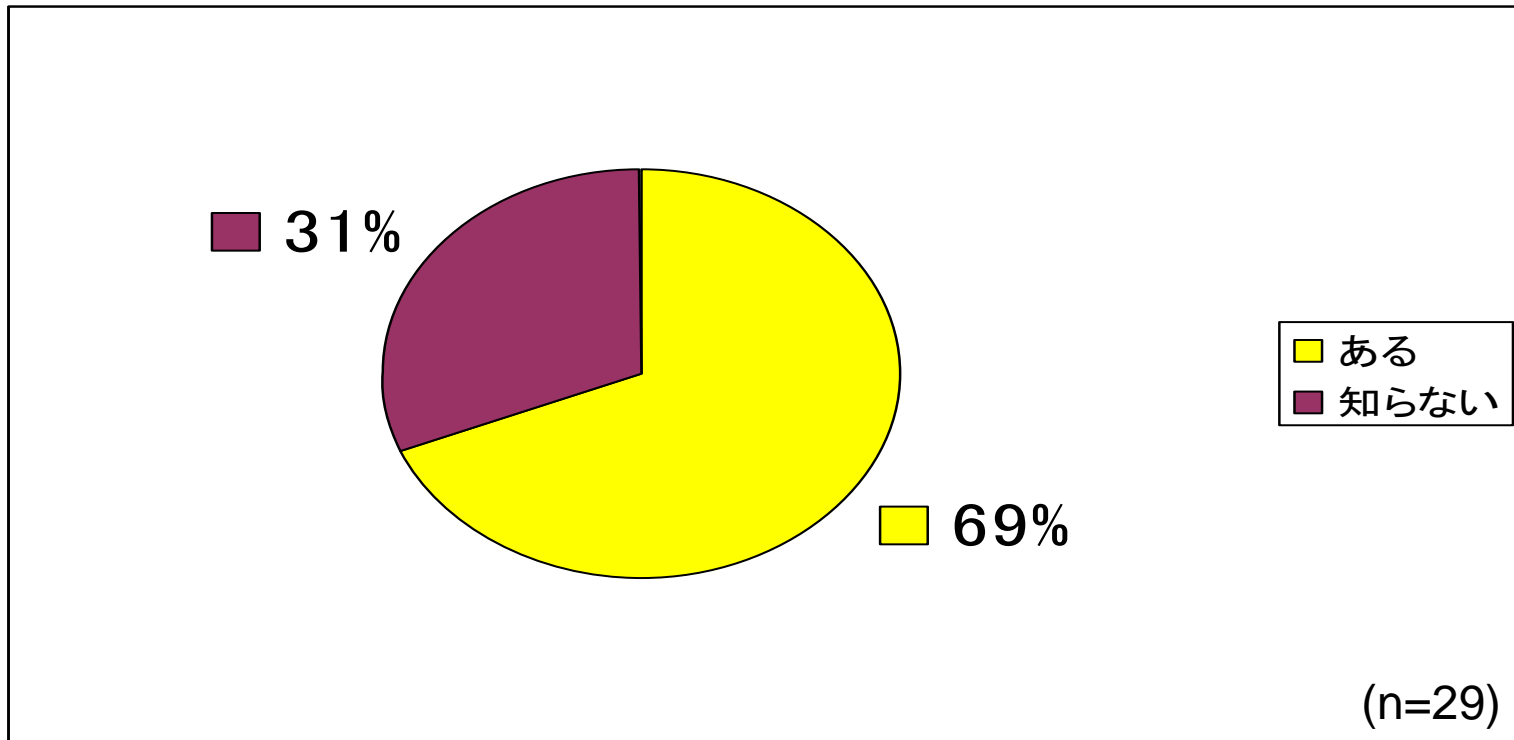


顕著な傾向は
見られない

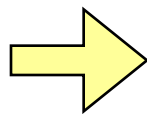


連携によって
人的資源である総合型に対しても
更なるPRを

・成果発表・活動発表の機会について



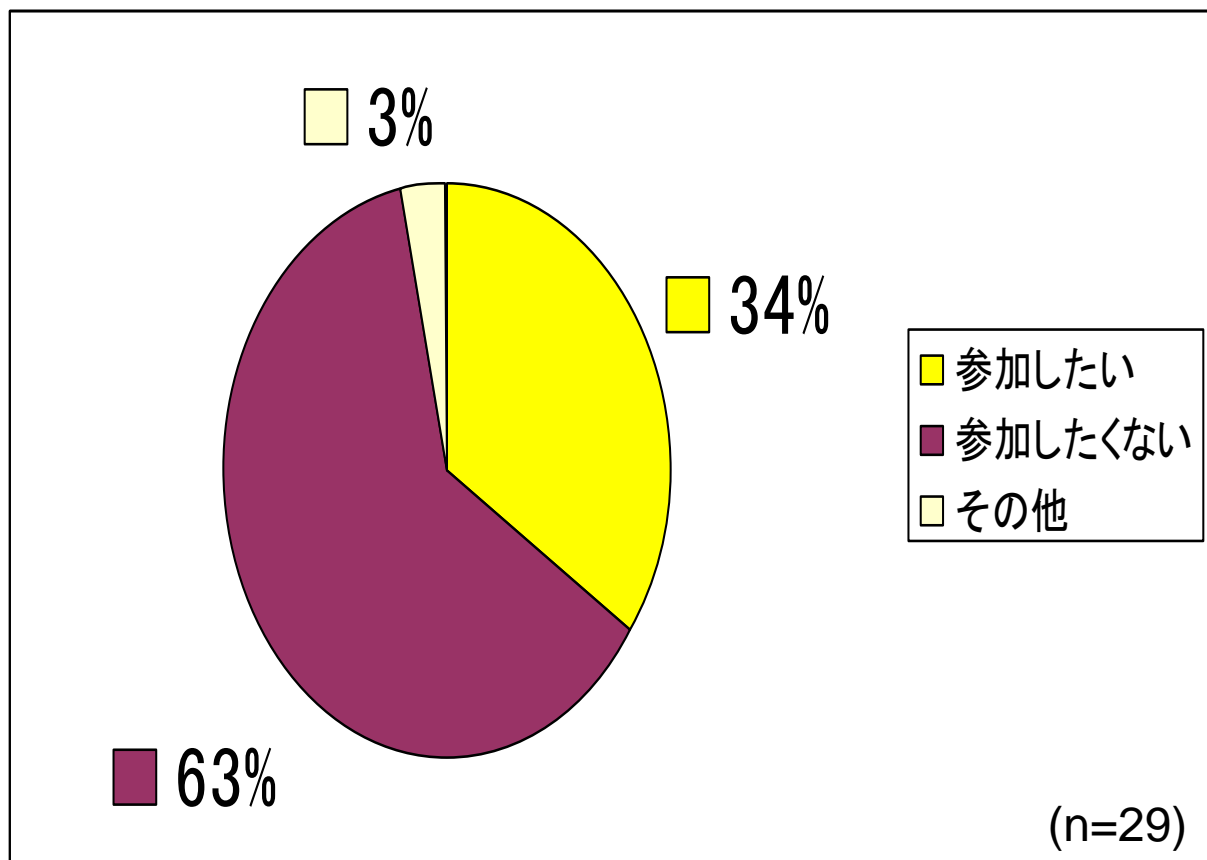
「ある」が
有意に多い
($p < 0.05$)



年1、2回の発表の機会を
プロスポーツと連携し
より充実させていく

・プロスポーツ会場における

成果発表・活動発表への参加希望について

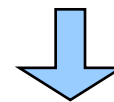


「参加したくない」が多い傾向

発表を行っている団体もある
cf) 新湊カモンSC

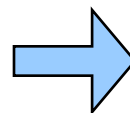
PRになる

会員数増加へ



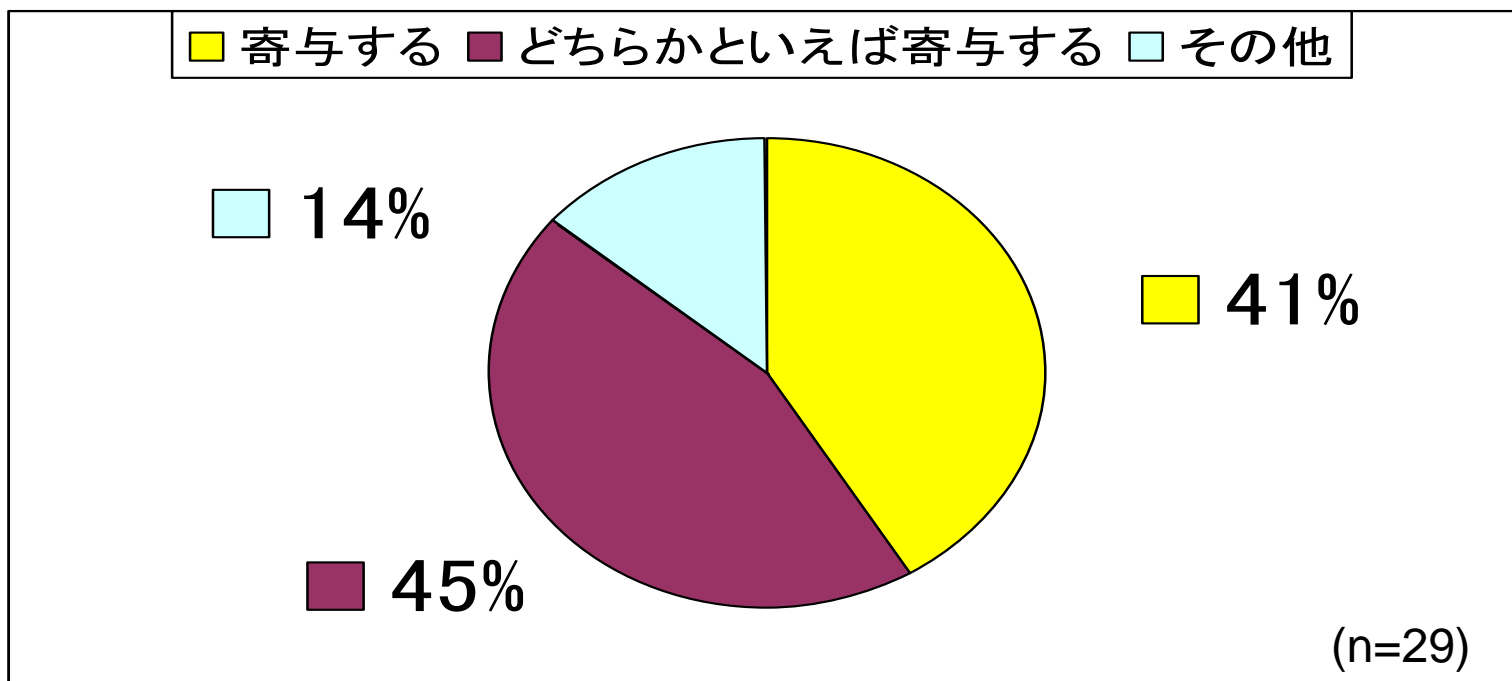
余裕がない

イメージできない



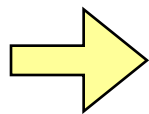
発表事例を増やしていく必要

・「する」、「見る」、「支える」スポーツの充実が
スポーツライフの向上に寄与するかについて



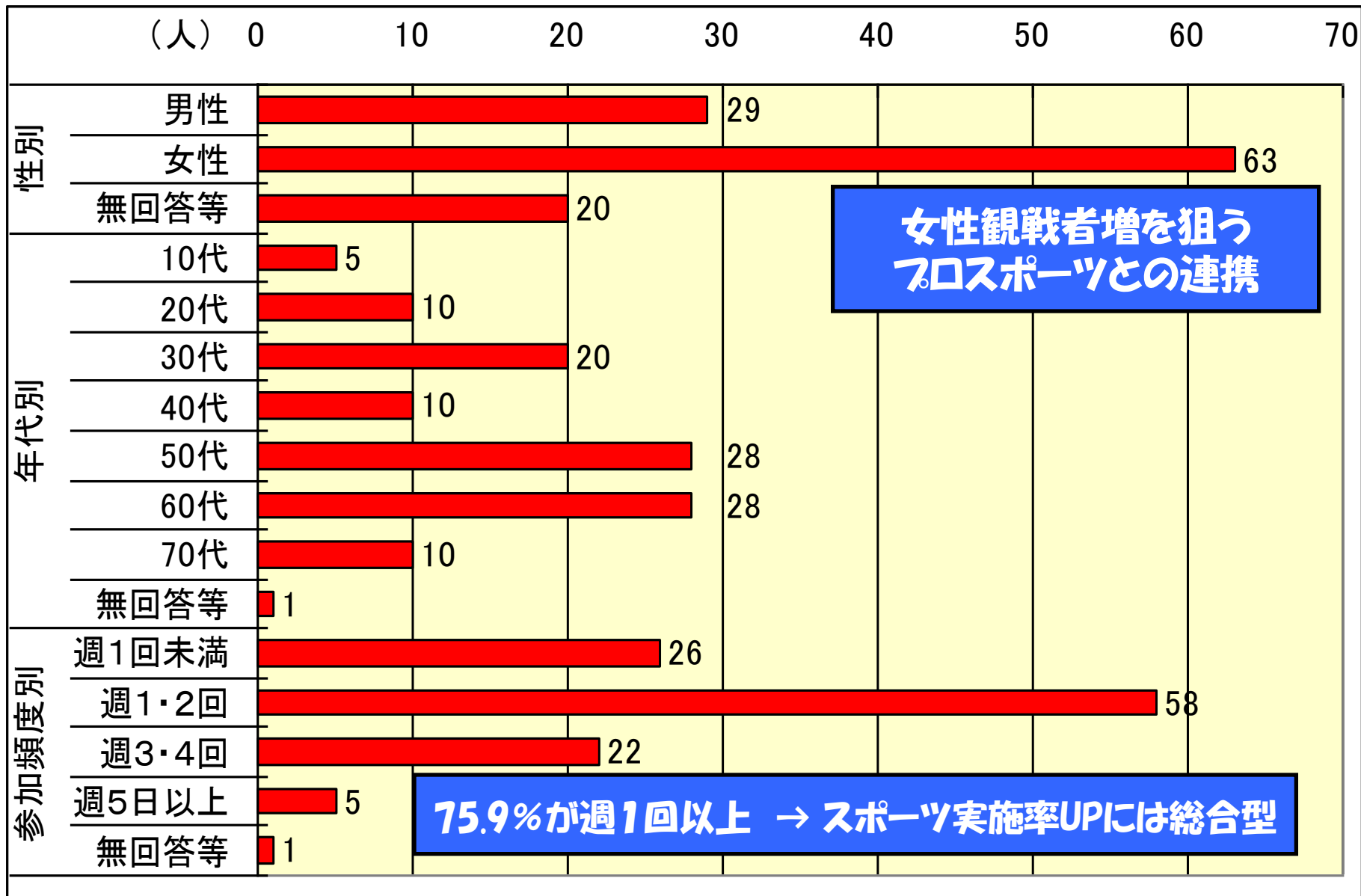
「寄与する」群が
有意に多い

($P < 0.001$)



プロスポーツと総合型の
連携によって
充実させていくべき

(2) 総合型参加者



参加理由

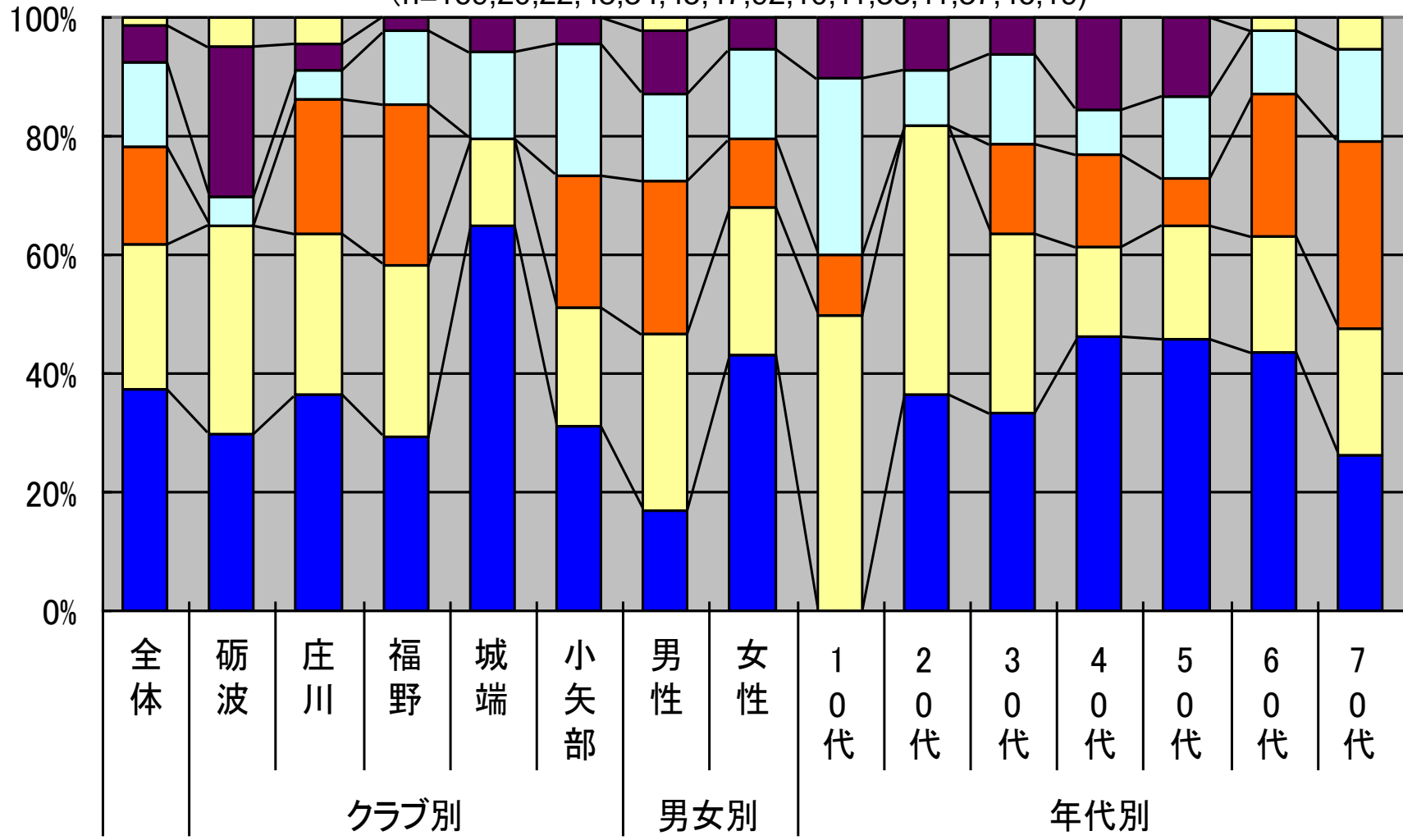
クラブ別 (p<0.05)
男女別 (p<0.01)

クラブ別 (p<0.01)
男女別 (p<0.05)

→ 回答に差がある

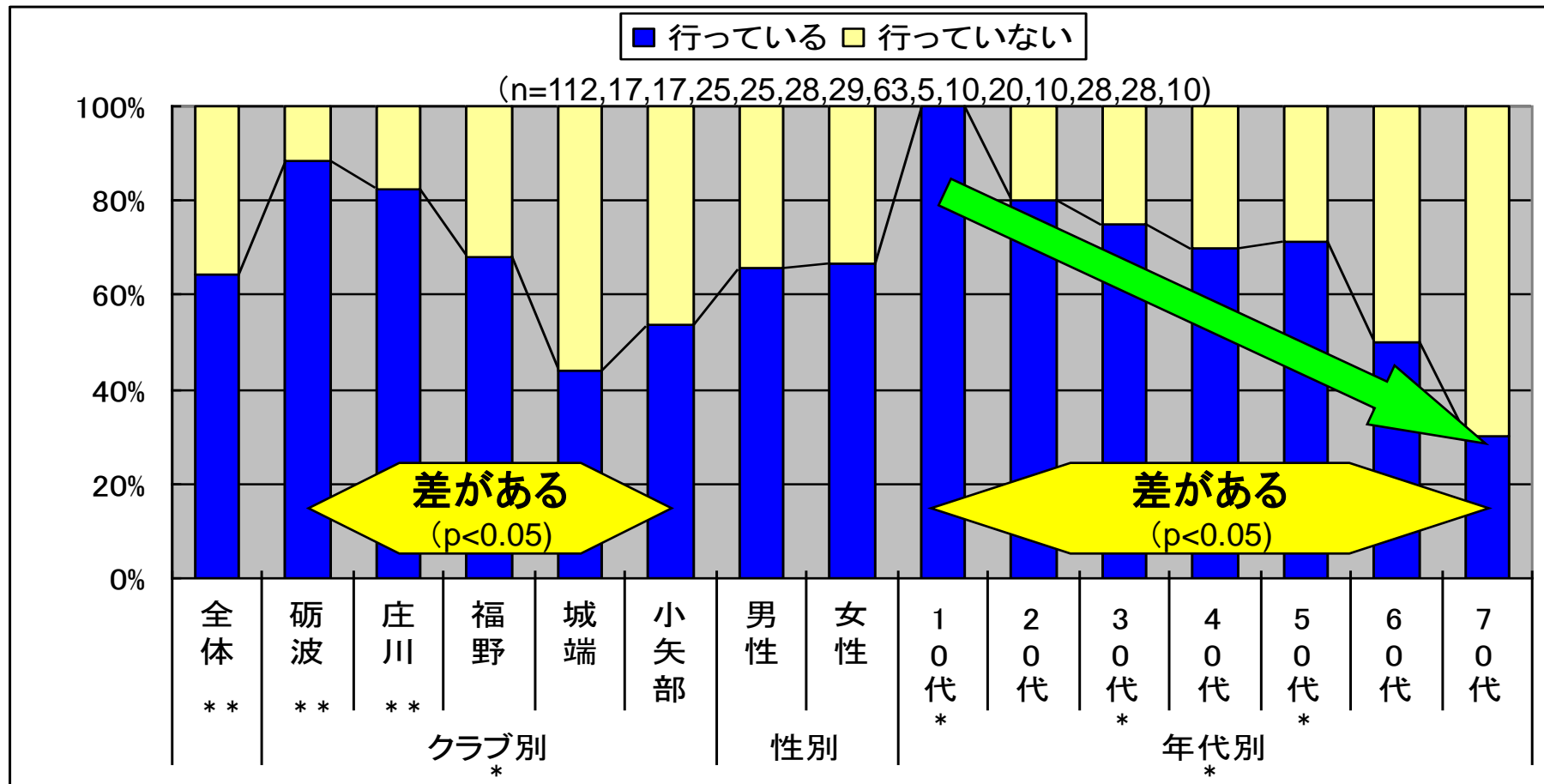
■ 運動不足 ■ 運動が好き ■ 仲間作り ■ 友人・家族に誘われて ■ その他 ■ 無回答等

(n=169,20,22,48,34,45,47,92,10,11,33,11,37,46,19)

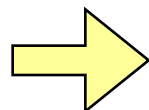


「見る」スポーツの実施状況について

(p<0.05)	*
(p<0.01)	**
(p<0.001)	***

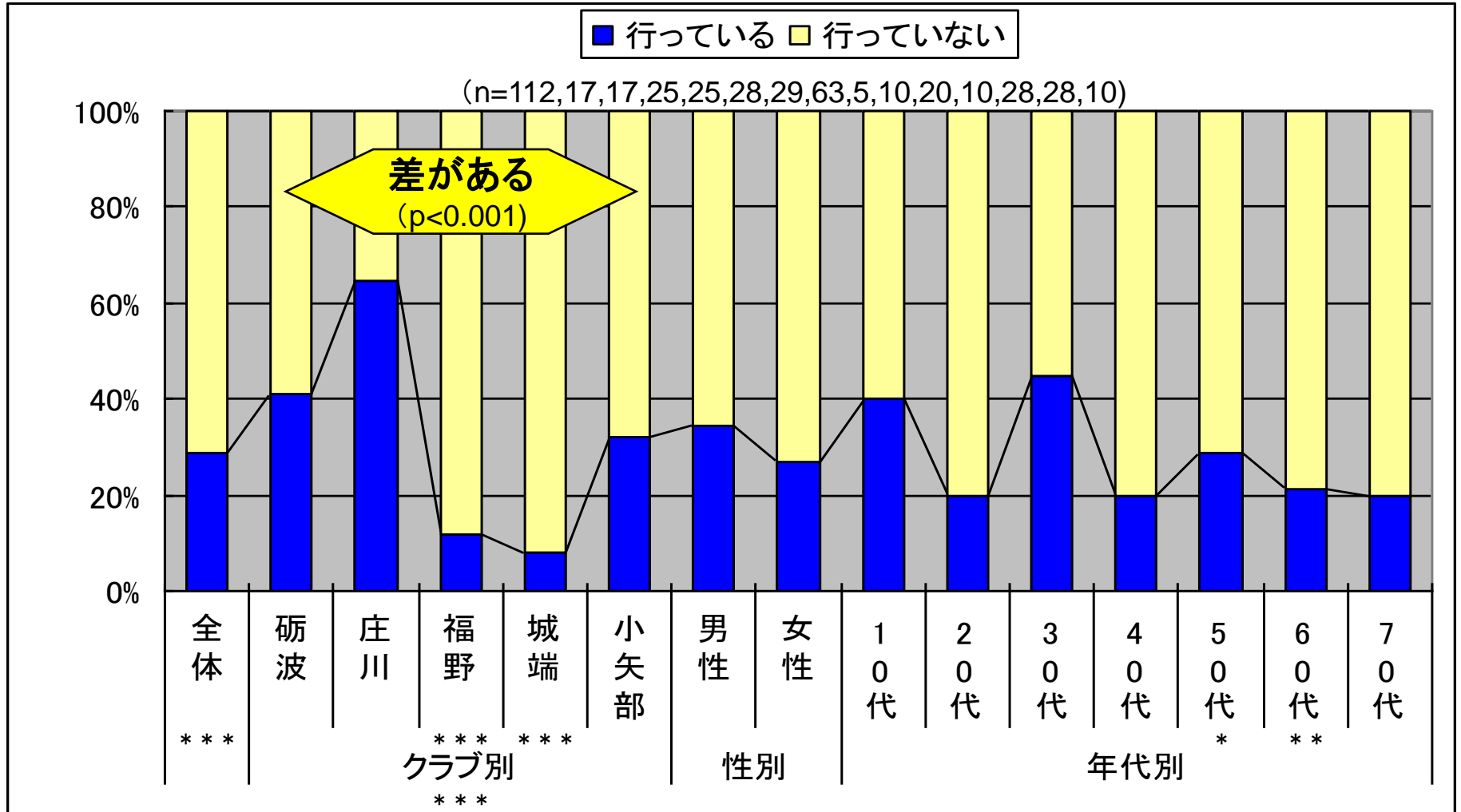


「行っている」が有意に多い (p<0.01)

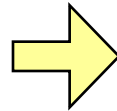


更に充実させていく必要がある

「支える」スポーツの実施状況について

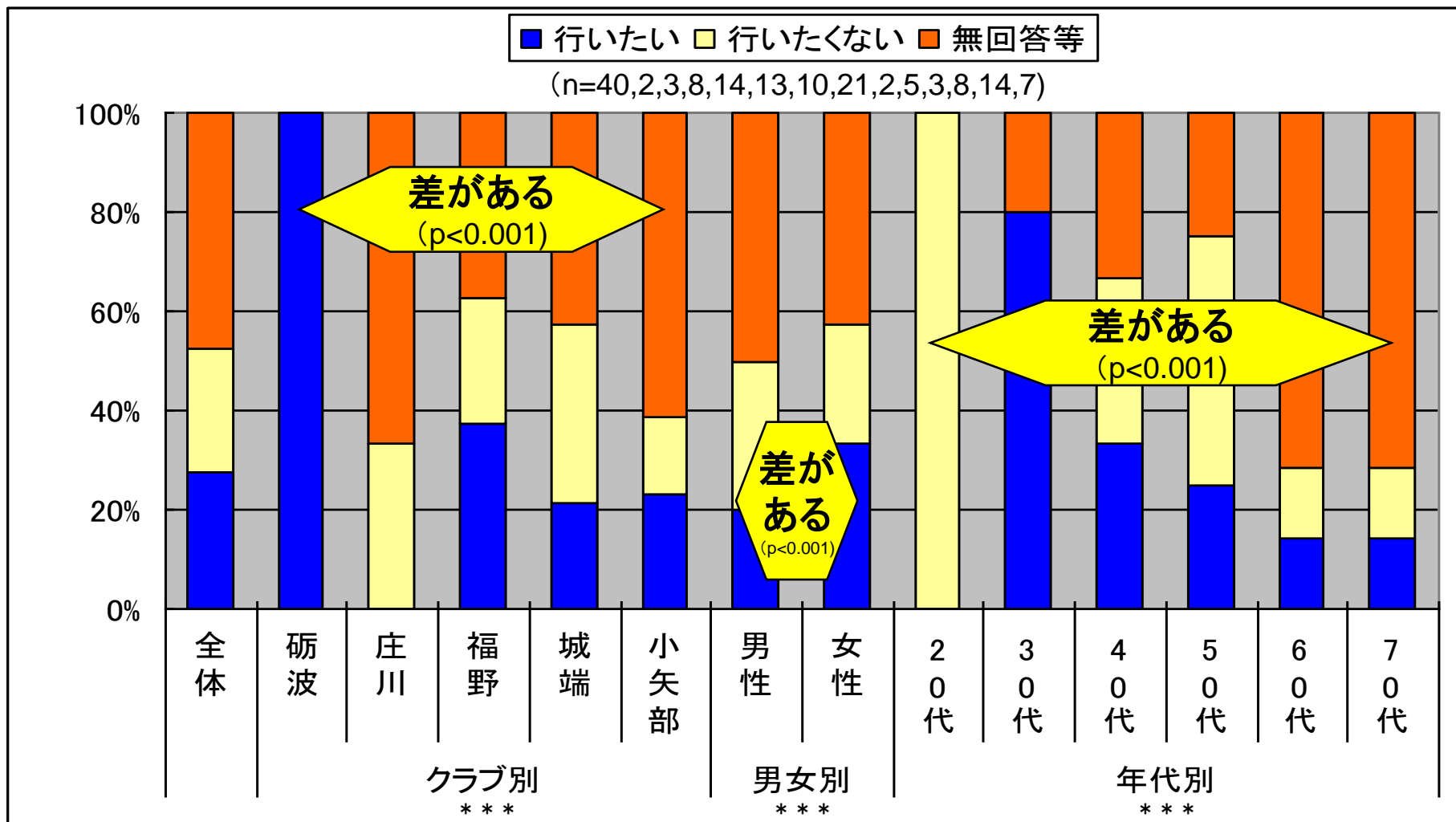


「行っていない」が有意に多い
(p<0.001)

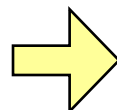


「支える」スポーツの機会を提供

「見る」スポーツの実施希望について（「見る」スポーツを行っていない参加者）

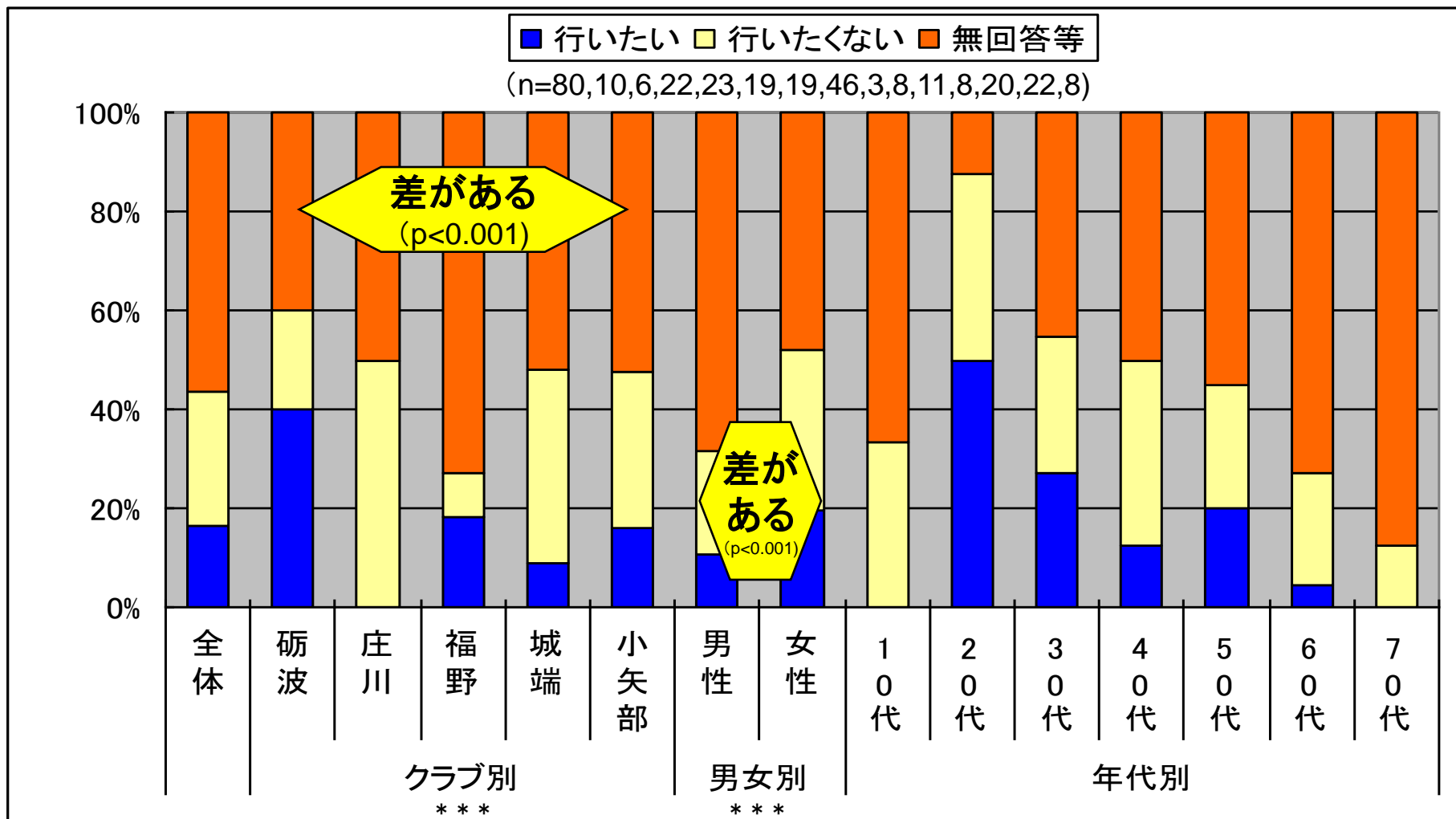


「行いたくない」と無回答等が多い

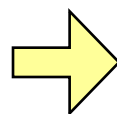


「見る」スポーツの理解が優先

「支える」スポーツの実施希望について（「支える」スポーツを行っていない参加者）



「行いたくない」と無回答等が多い

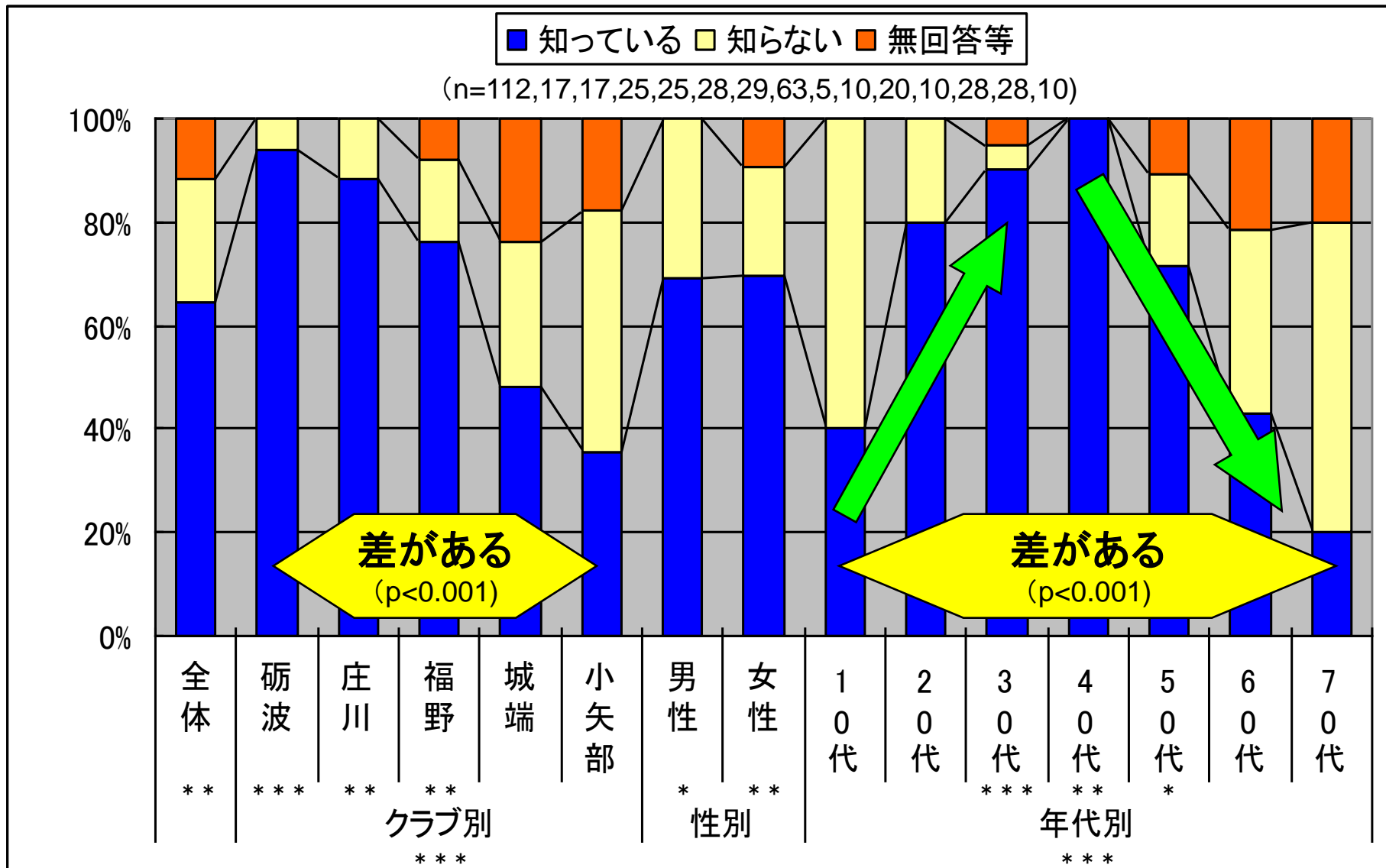


「支える」スポーツの理解が優先

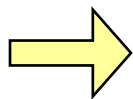
・プロスポーツチームの認知度について

A. 富山サンダーバーズ →

「知っている」が有意に多い (P<0.01)



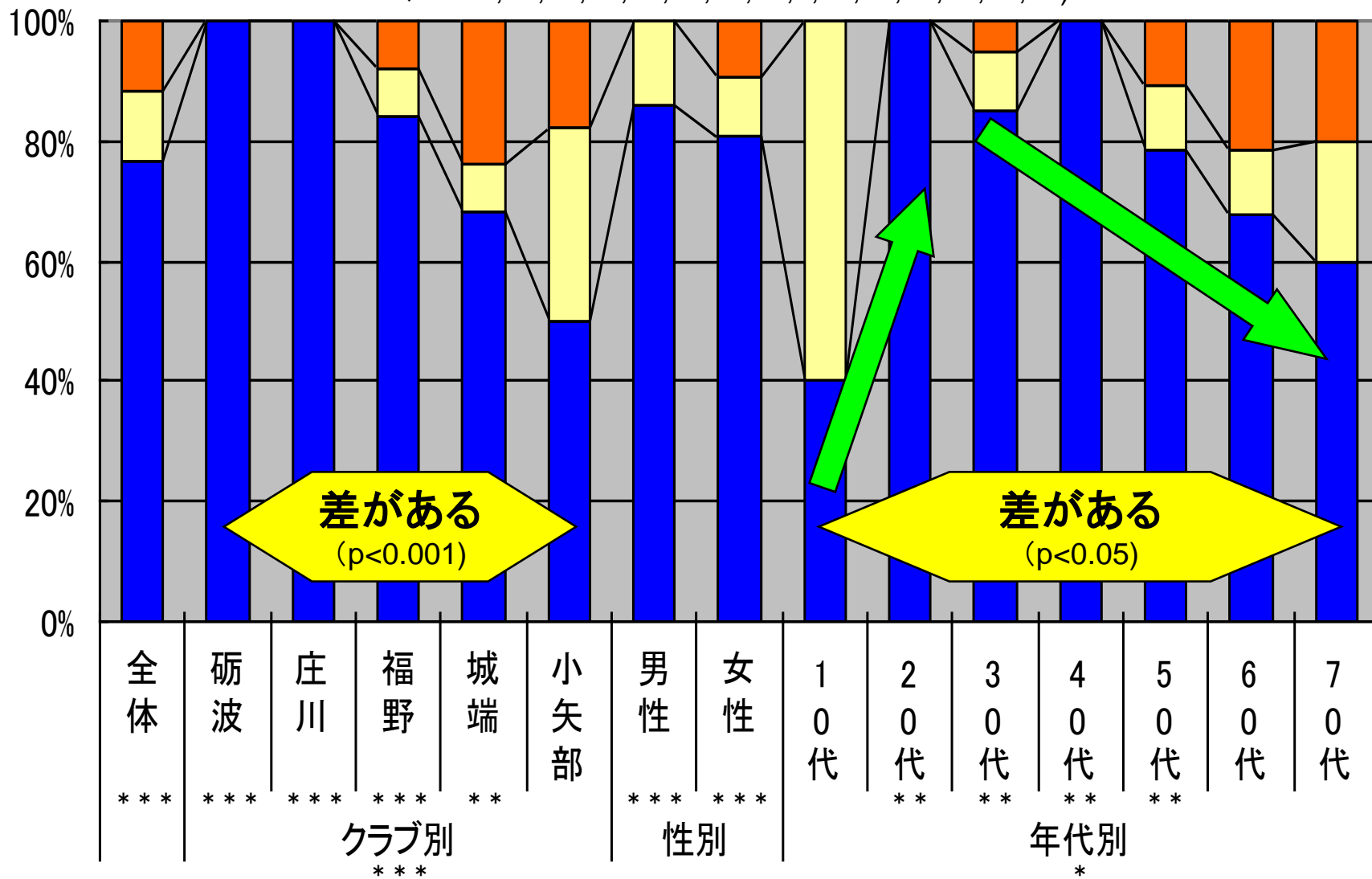
B.カターレ富山



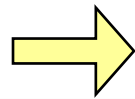
「知っている」が有意に多い (P<0.001)

■ 知っている □ 知らない ■ 無回答等

(n=112,17,17,25,25,28,29,63,5,10,20,10,28,28,10)



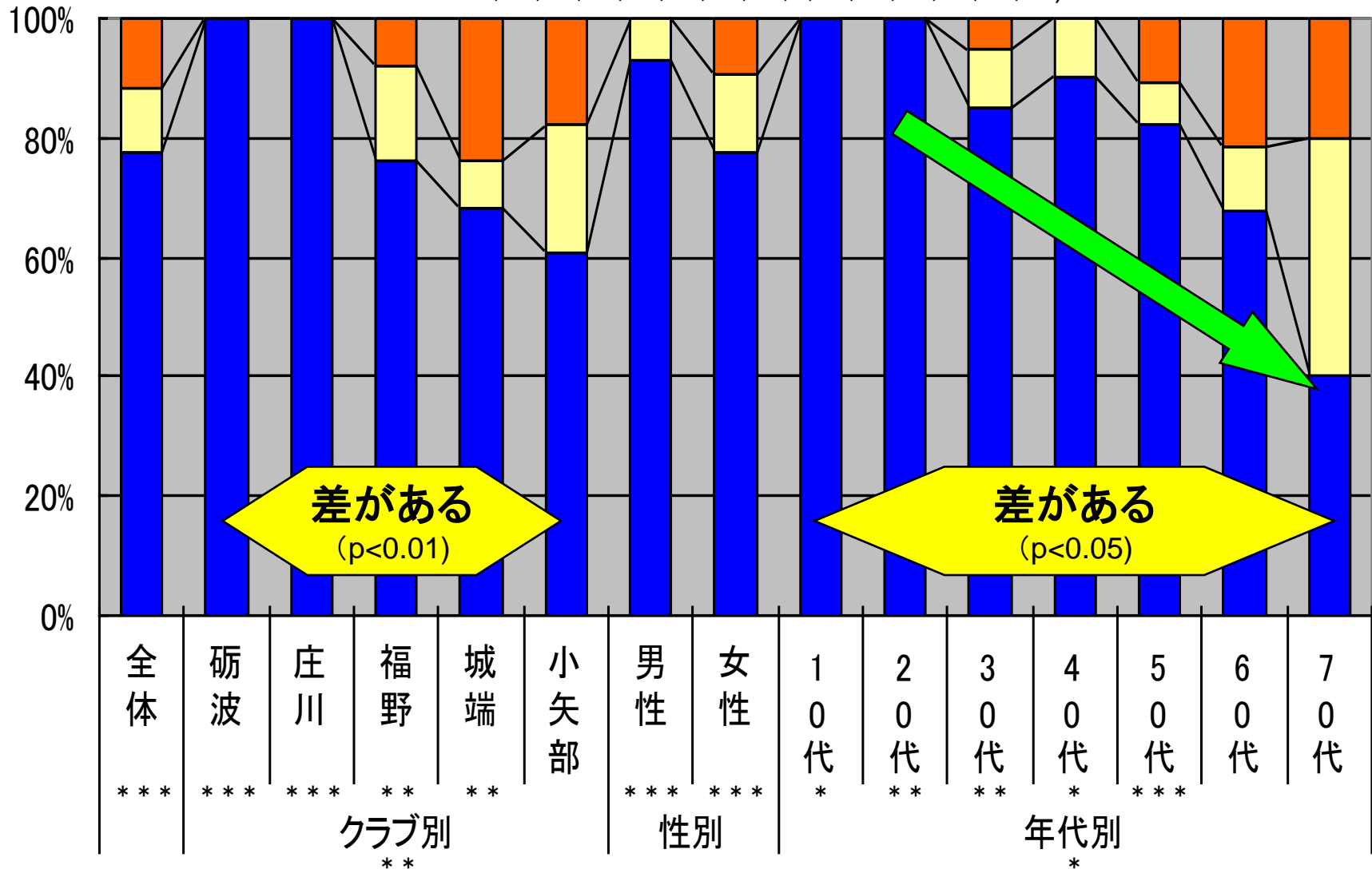
C.富山グラウジーズ



「知っている」が有意に多い (P<0.001)

■ 知っている □ 知らない ■ 無回答等

(n=112,17,17,25,25,28,29,63,5,10,20,10,28,28,10)



差がある (p<0.01)

差がある (p<0.05)

**

**

*

**

**

*

*

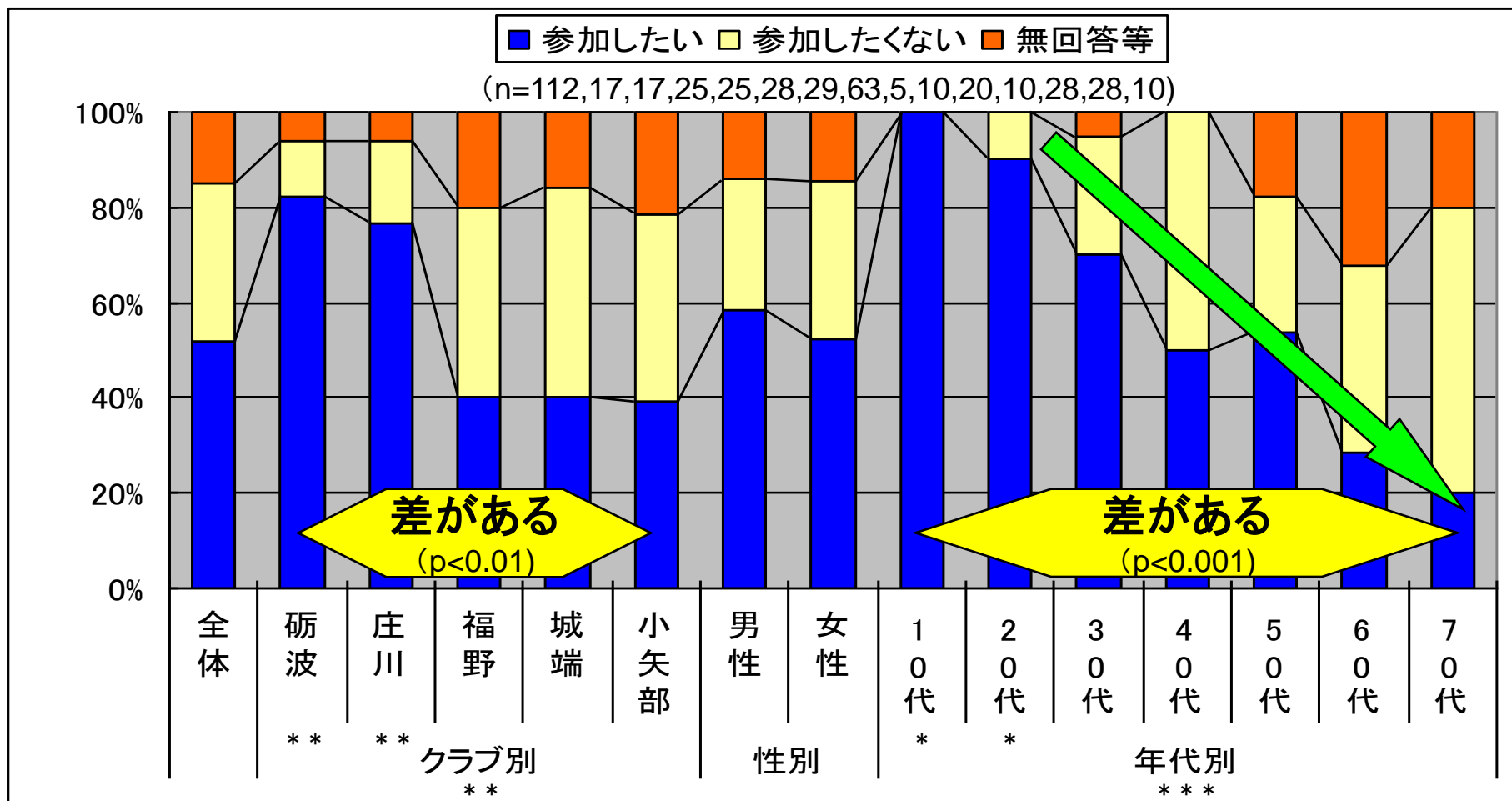
*

クラブ別
**

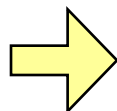
性別

年代別
*

総合型地域スポーツクラブでの プロスポーツ観戦への参加希望について

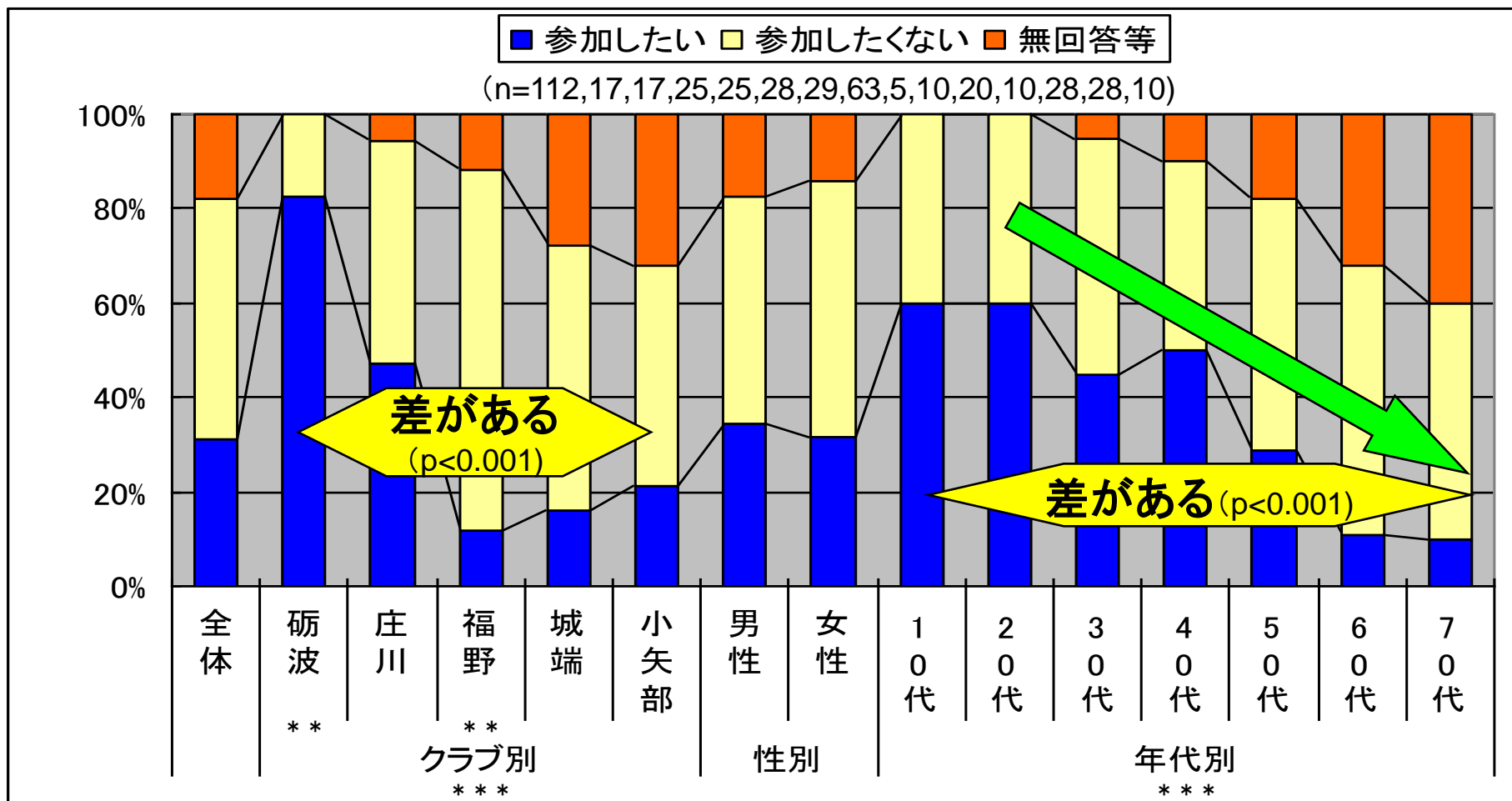


「参加したい」が多い傾向

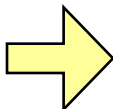


プロスポーツと総合型の連携

総合型地域スポーツクラブでの プロスポーツボランティアスタッフへの参加希望について

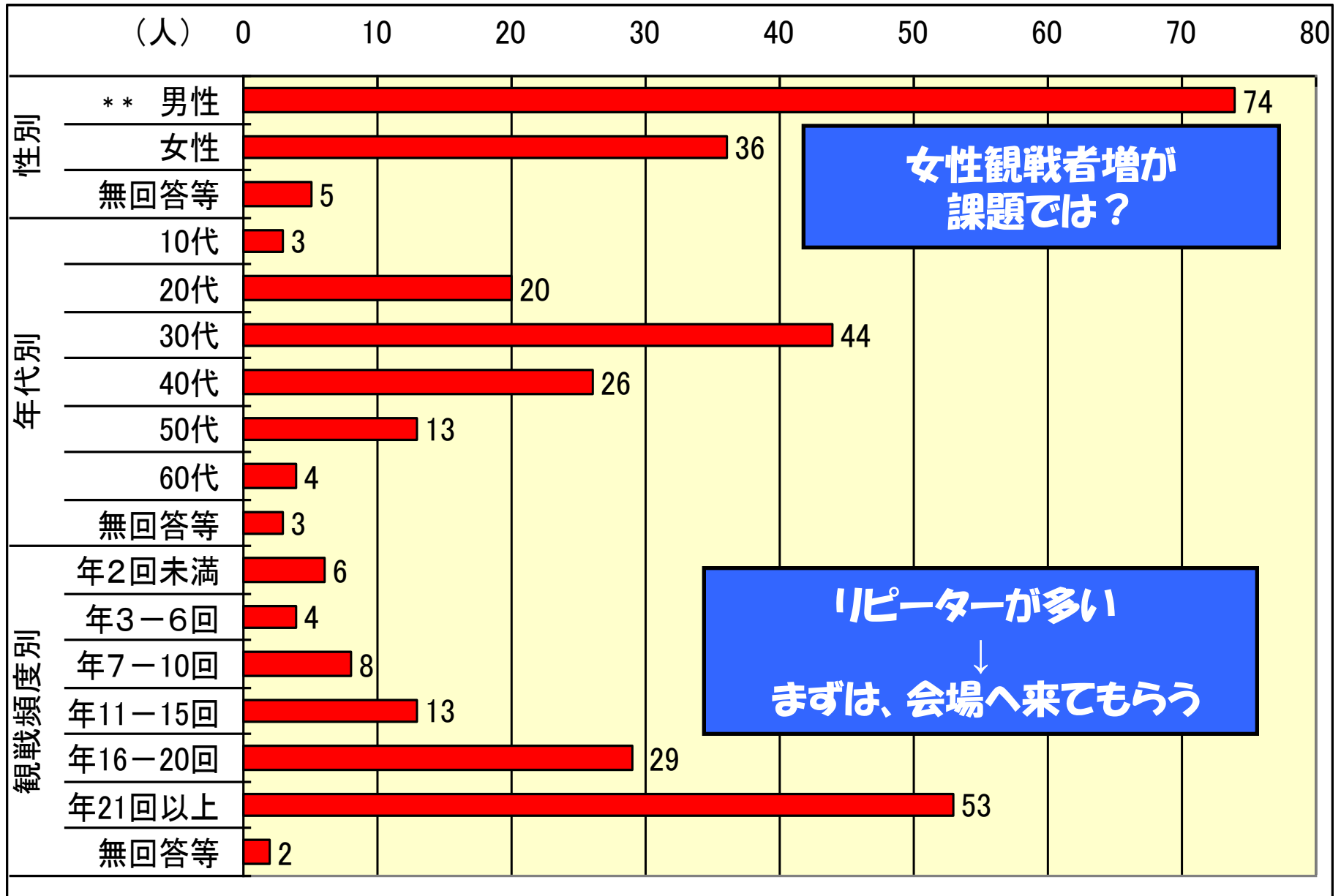


「参加したくない」が多い傾向



総合型同士の連携
(総合型連絡協議会)

(3) プロスポーツ観戦者



観戦理由

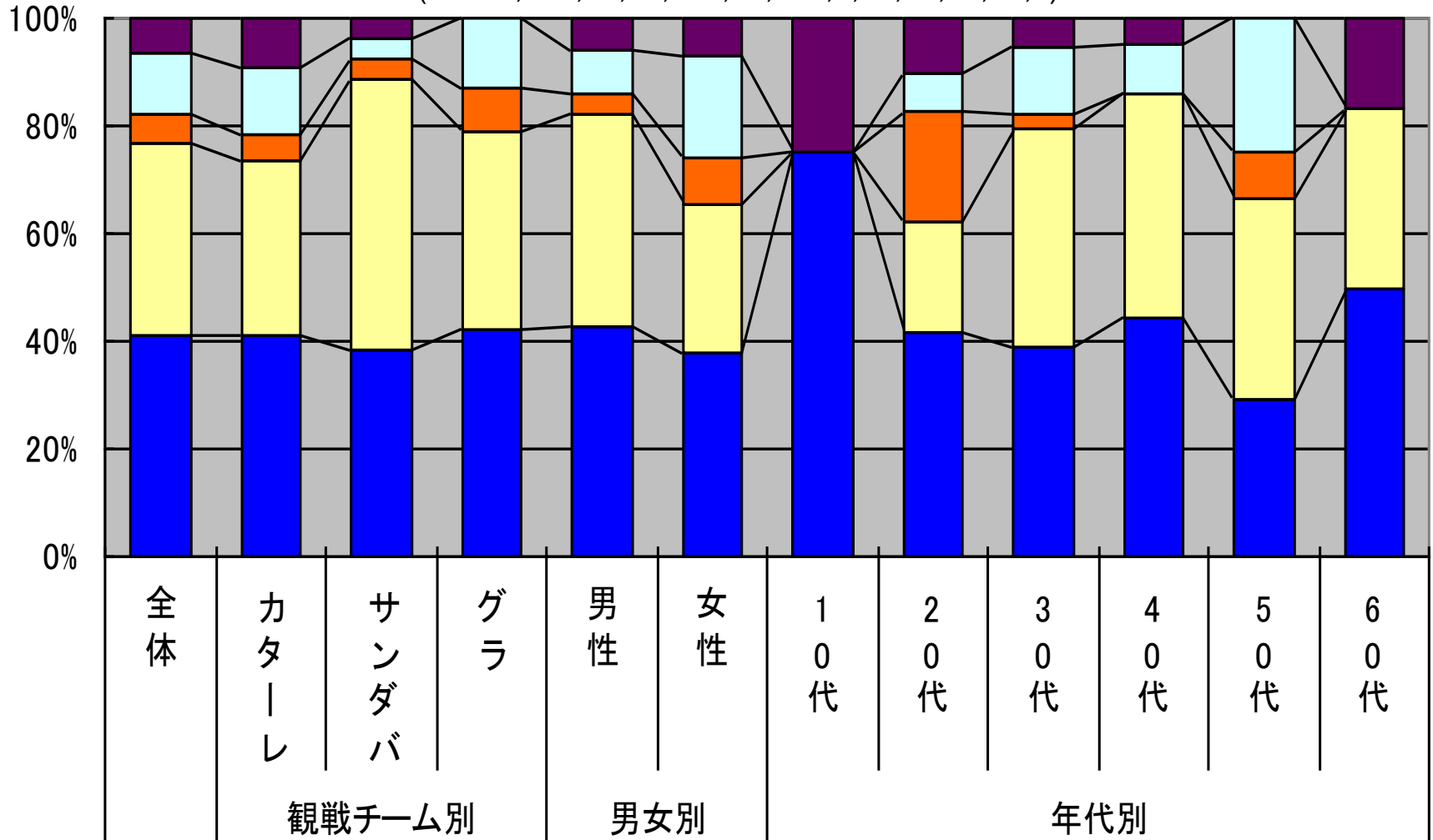
年代別(p<0.01)

回答に差がある

男女別(p<0.05)

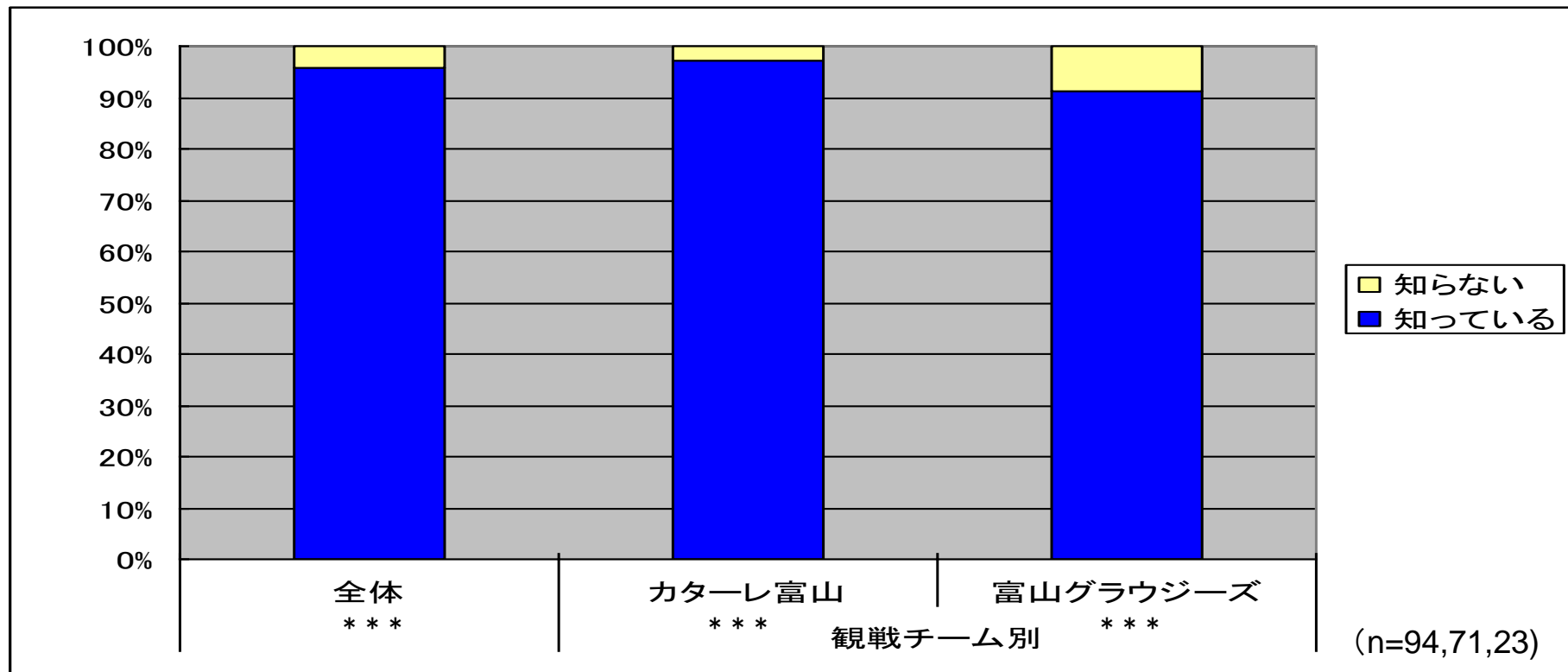
■ スポーツが好き □ 富山県のチーム ■ 友人・家族に誘われて □ 好きな選手がいる ■ その他

(n=185,121,26,38,122,58,180,4,29,74,43,24,6)



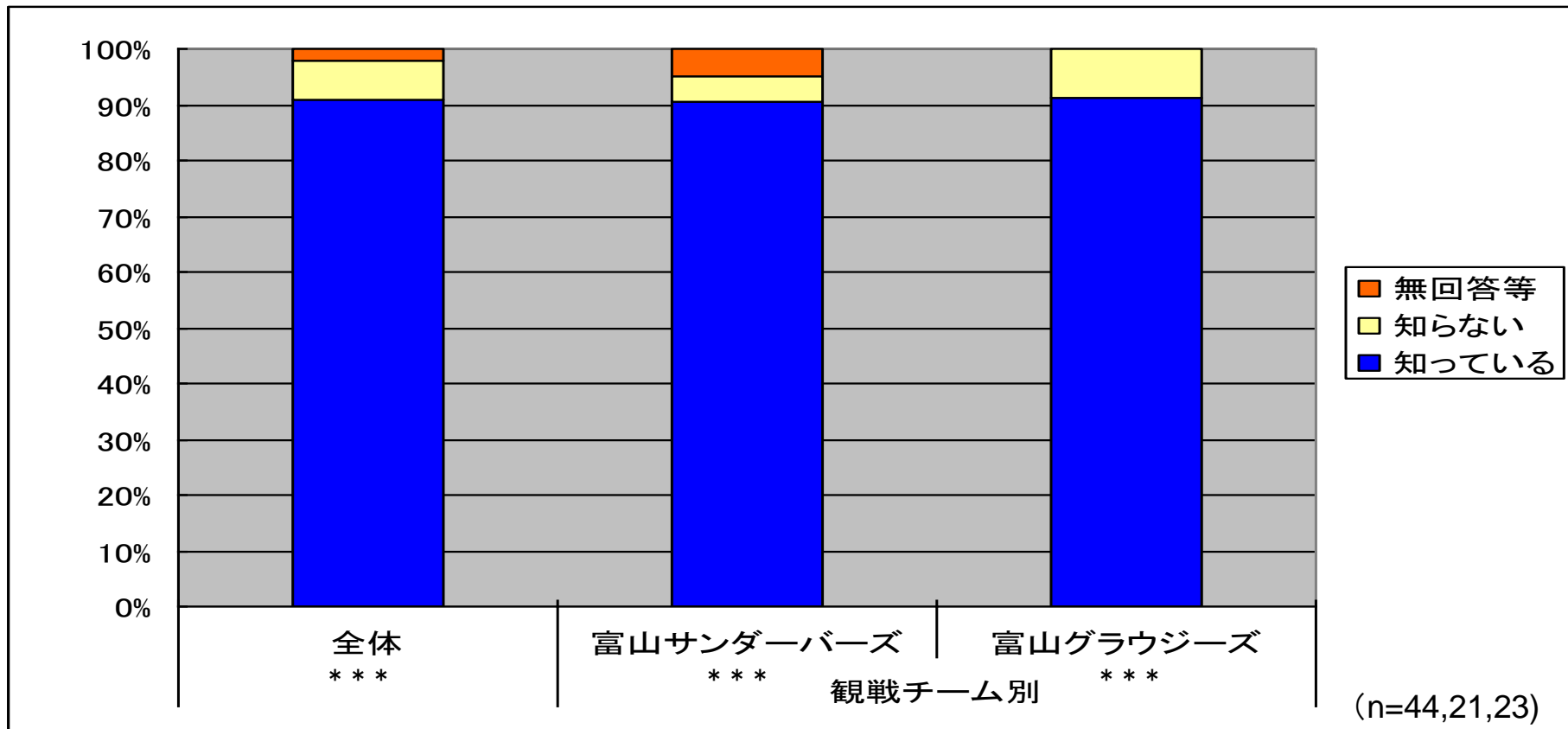
・プロスポーツチームの認知度について

A. 富山サンダーバーズ



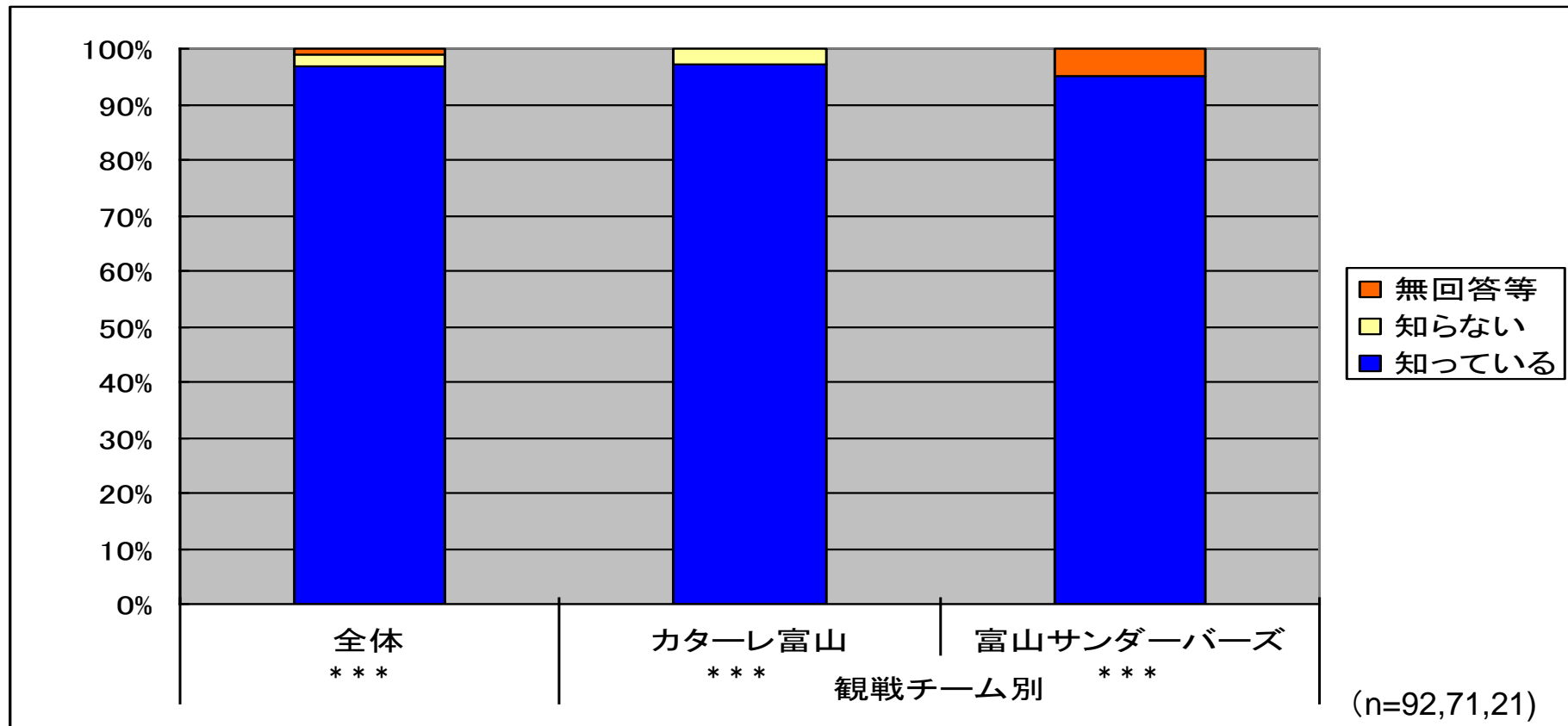
「知っている」が
有意に多い
($p < 0.001$)

B.カターレ富山



「知っている」が
有意に多い
($p < 0.001$)

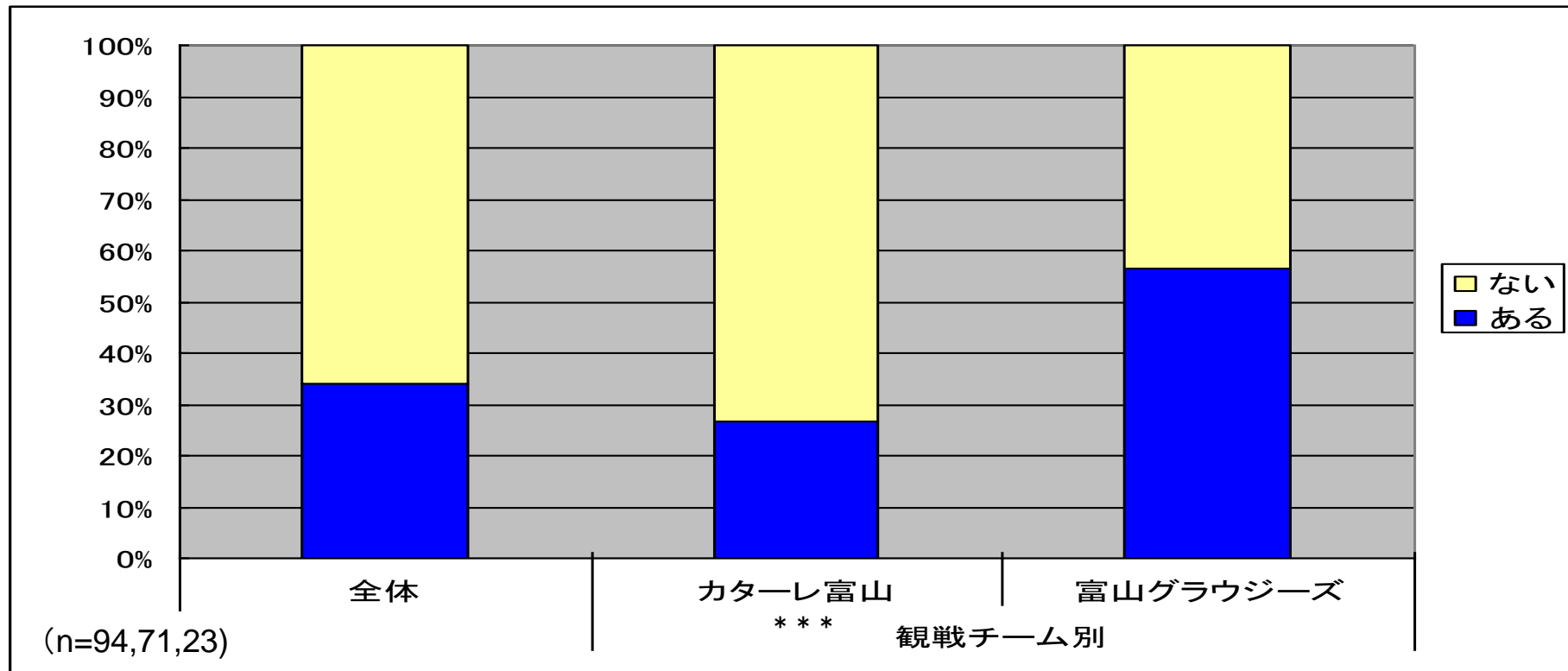
C. 富山グラウジーズ



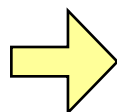
「知っている」が
有意に多い
($p < 0.001$)

・プロスポーツチームの観戦経験について

A. 富山サンダーバーズ

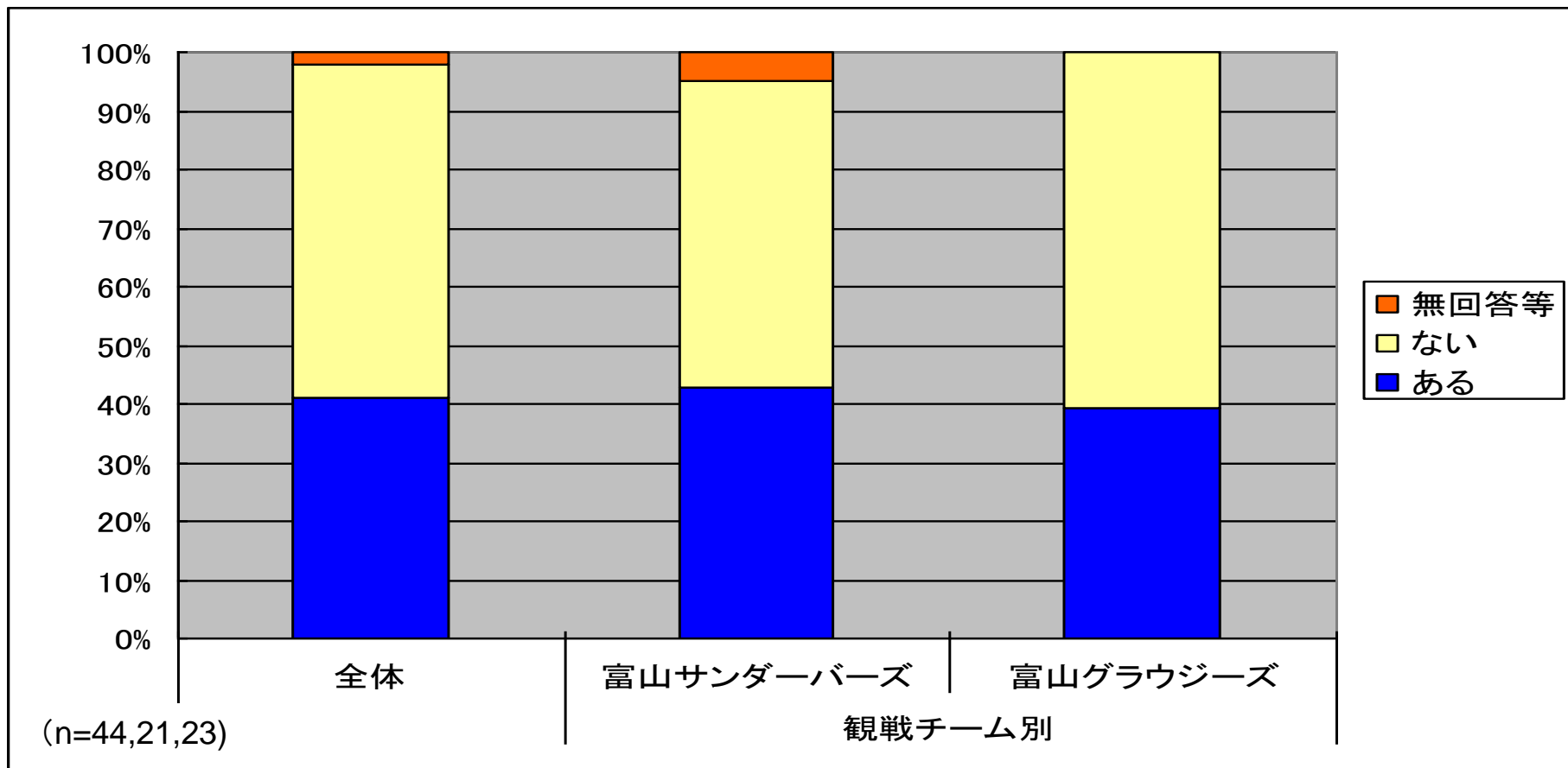


カターレ富山観戦者の
「ない」が有意に多い
($p < 0.001$)

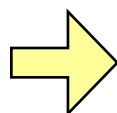


カターレ富山 &
富山サンダーバーズの
連携が必要

B.カターレ富山

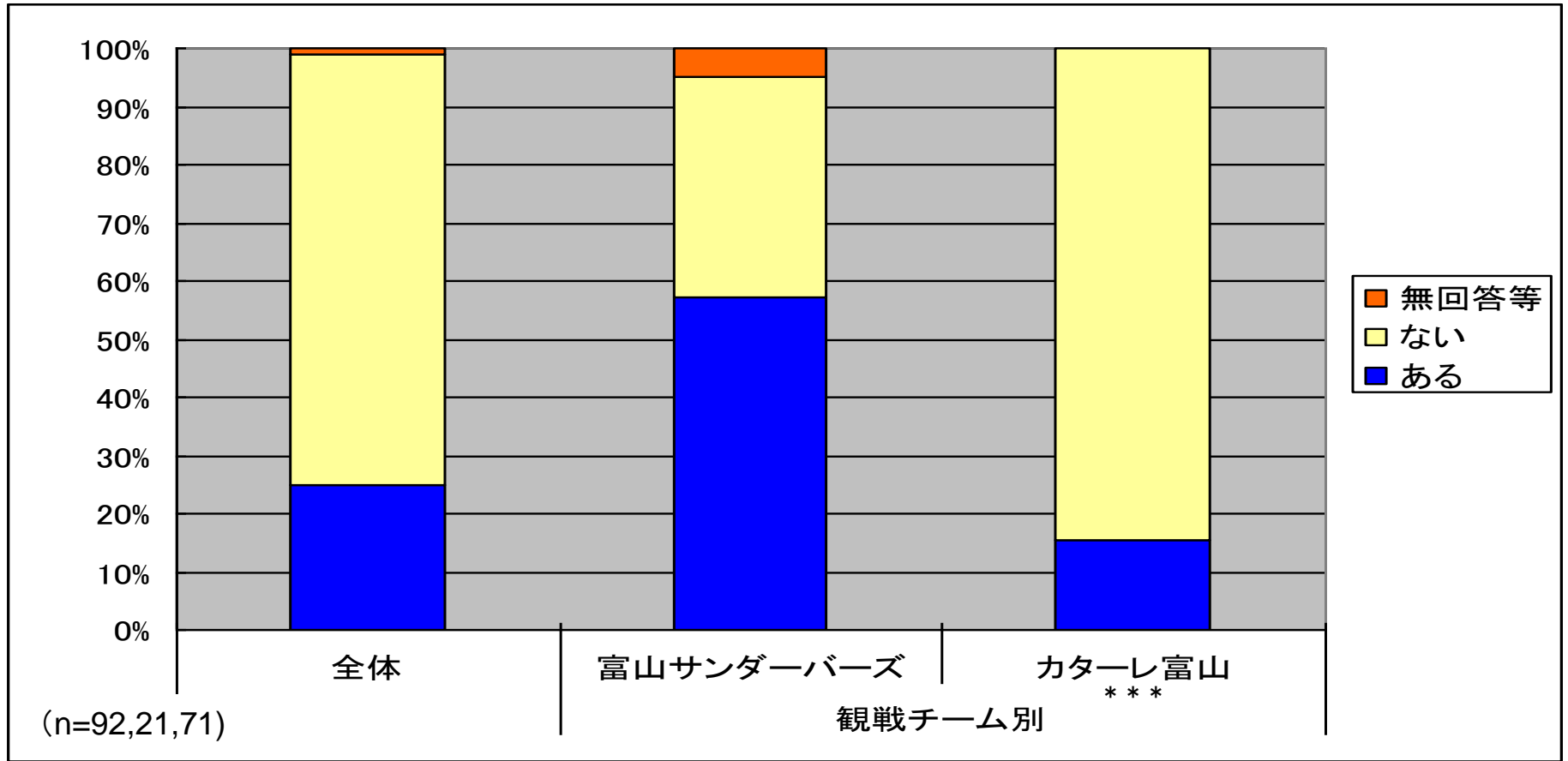


「ない」が多い傾向

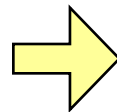


3チームの
連携が必要

C.富山グラウジーズ

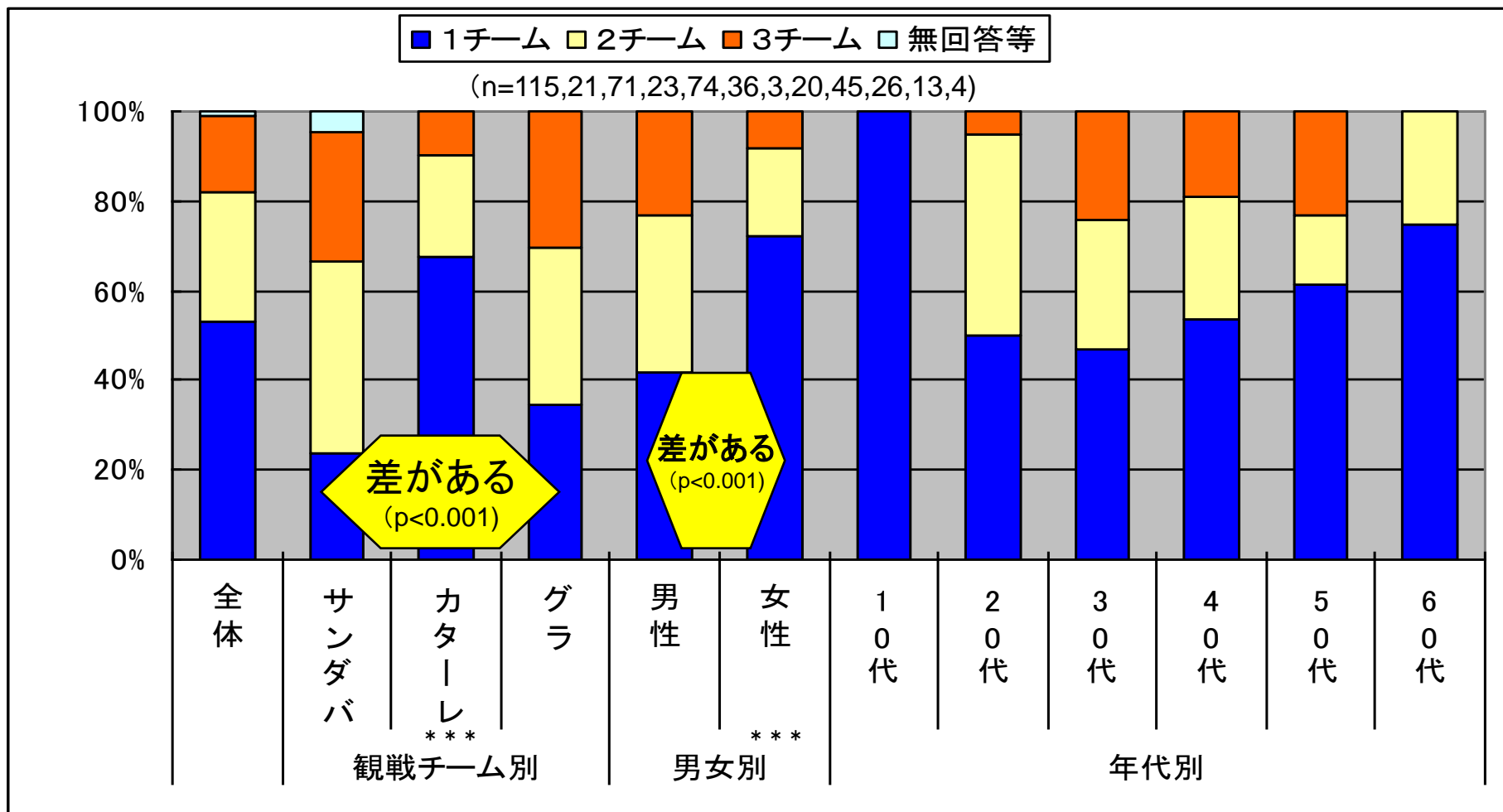


カターレ富山観戦者の
「ない」が多い傾向

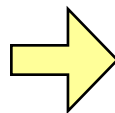


富山グラウジーズ &
カターレ富山の
連携が必要

・プロスポーツチームの観戦チーム数について

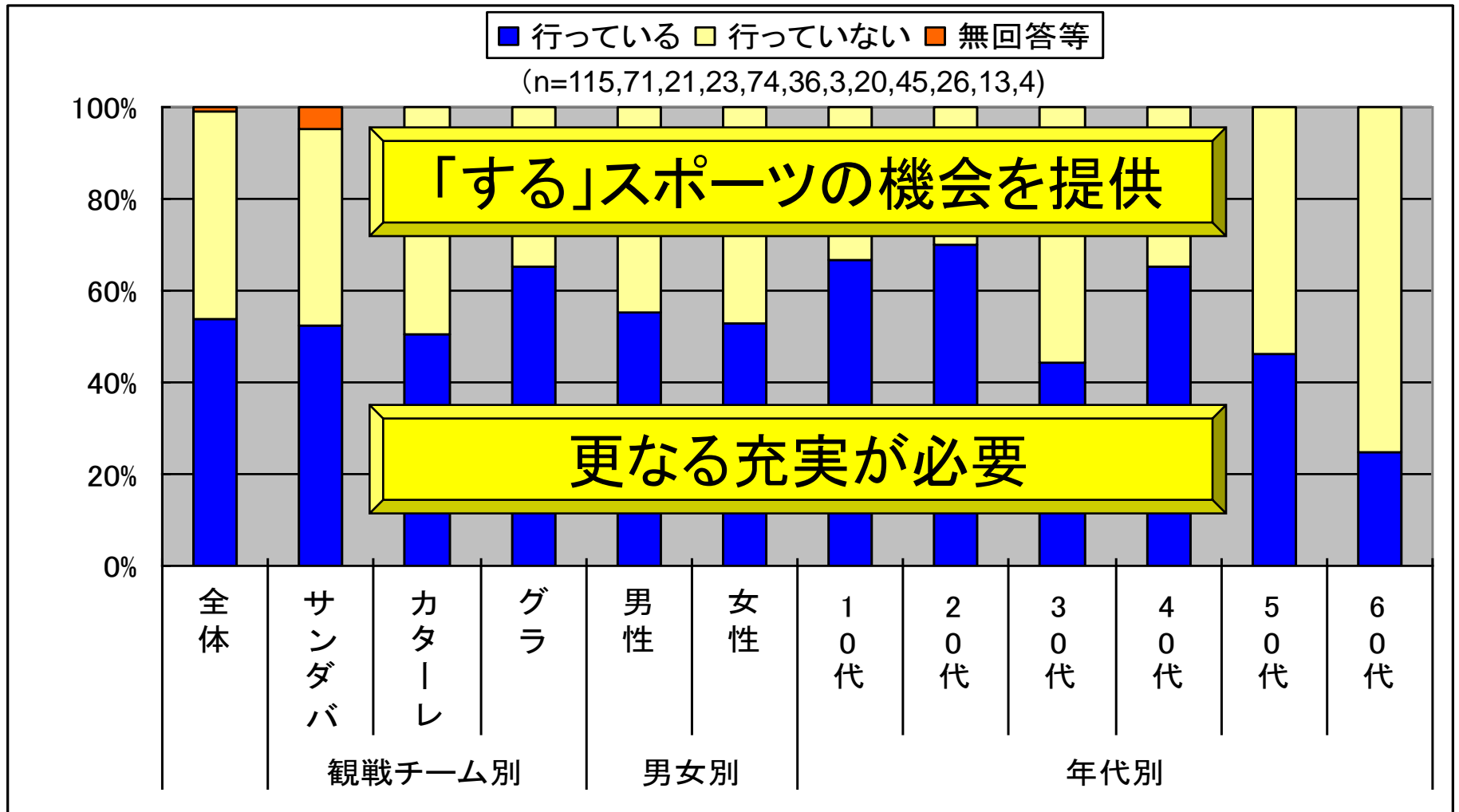


カタールレ富山観戦者の
「1チーム」が多い
(p<0.001)



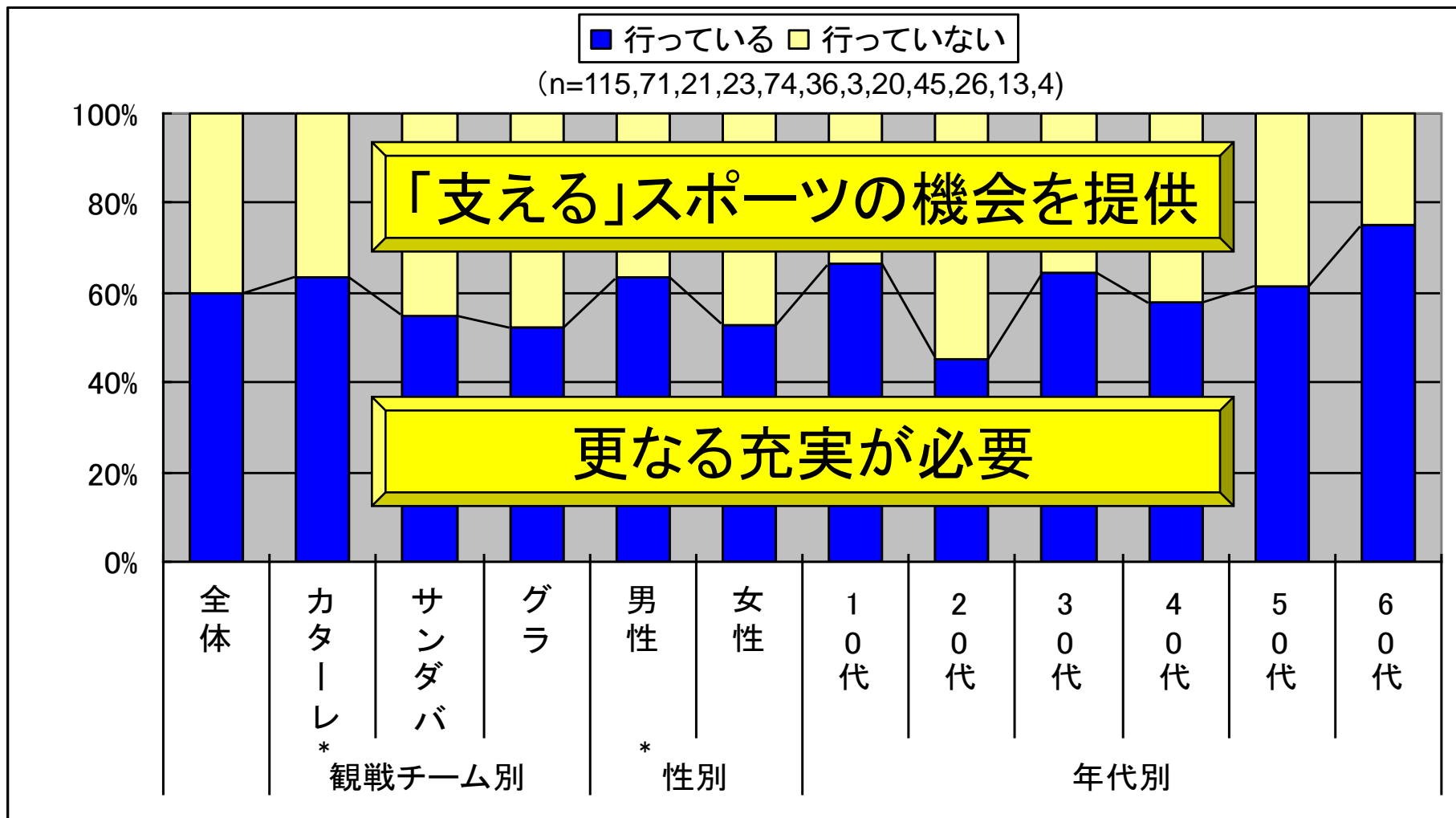
プロスポーツ間での
連携

「する」スポーツの実施状況について



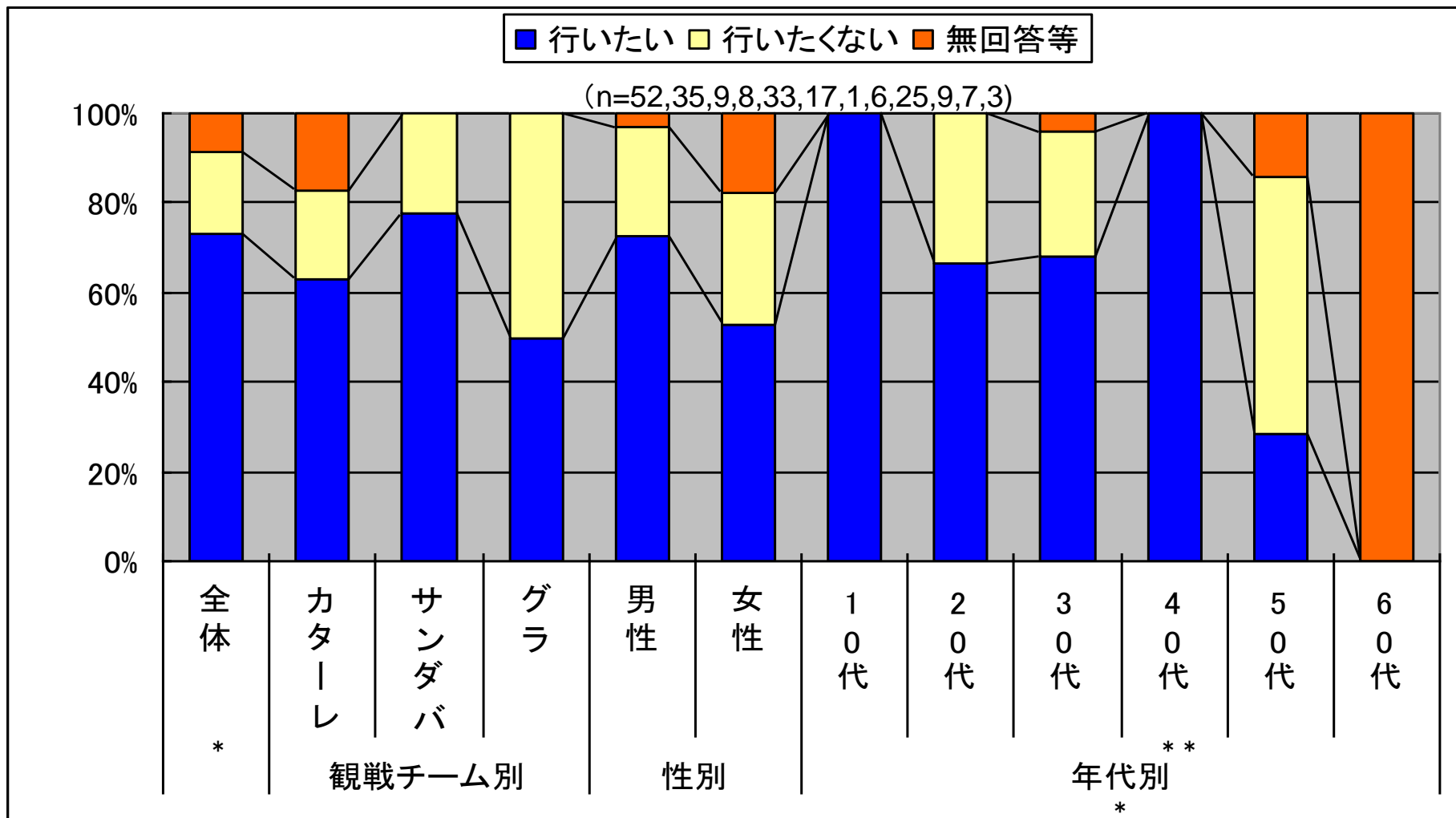
「行っている」が多い傾向

「支える」スポーツの実施状況について

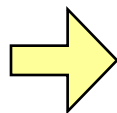


「行っている」が多い傾向

「する」スポーツの実施希望について（「する」スポーツを行っていない観戦者）

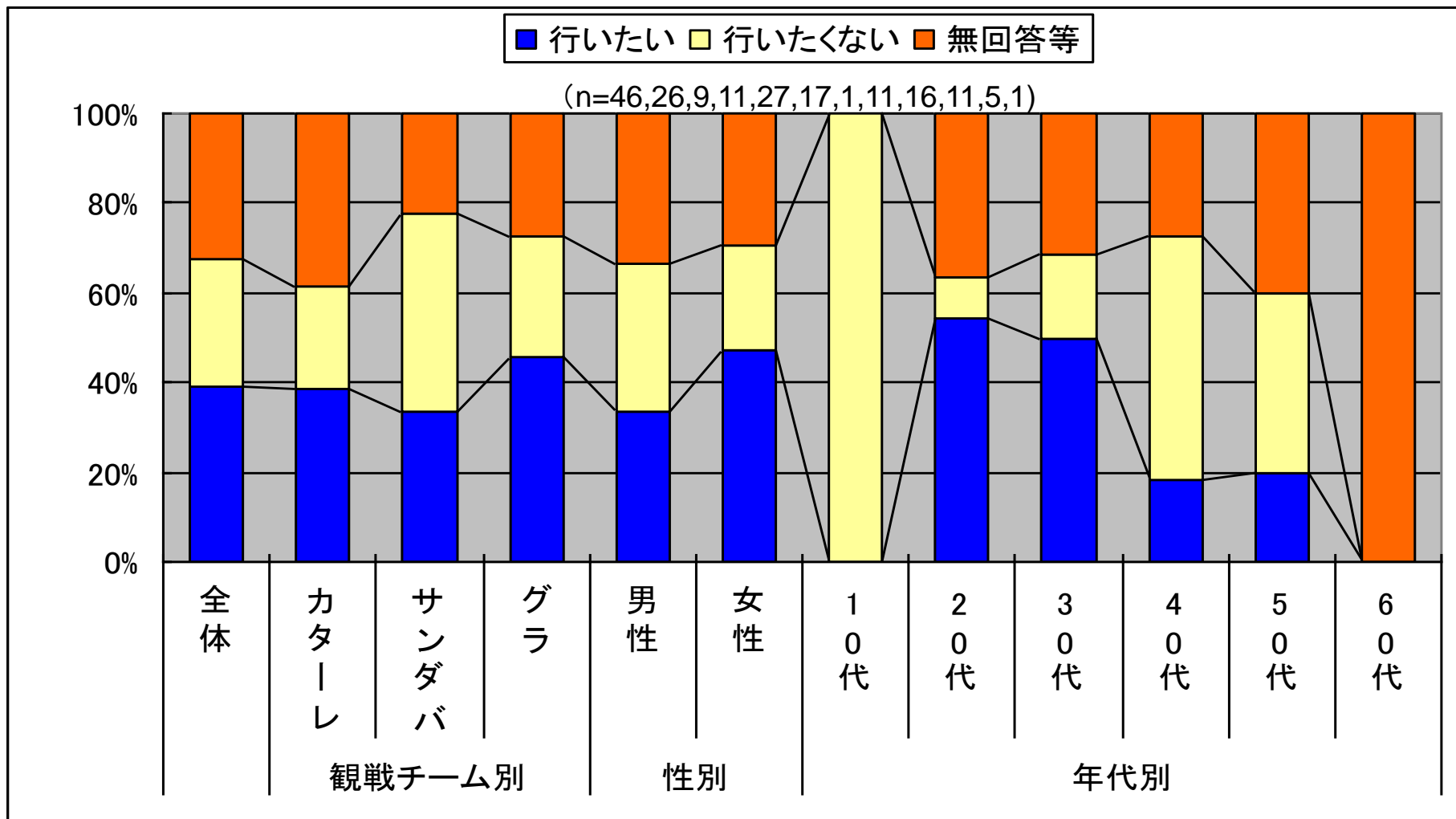


「行いたい」が
有意に多い
($p < 0.05$)

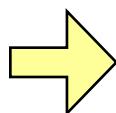


総合型で「する」スポーツを

「支える」スポーツの実施希望について（「支える」スポーツを行っていない観戦者）

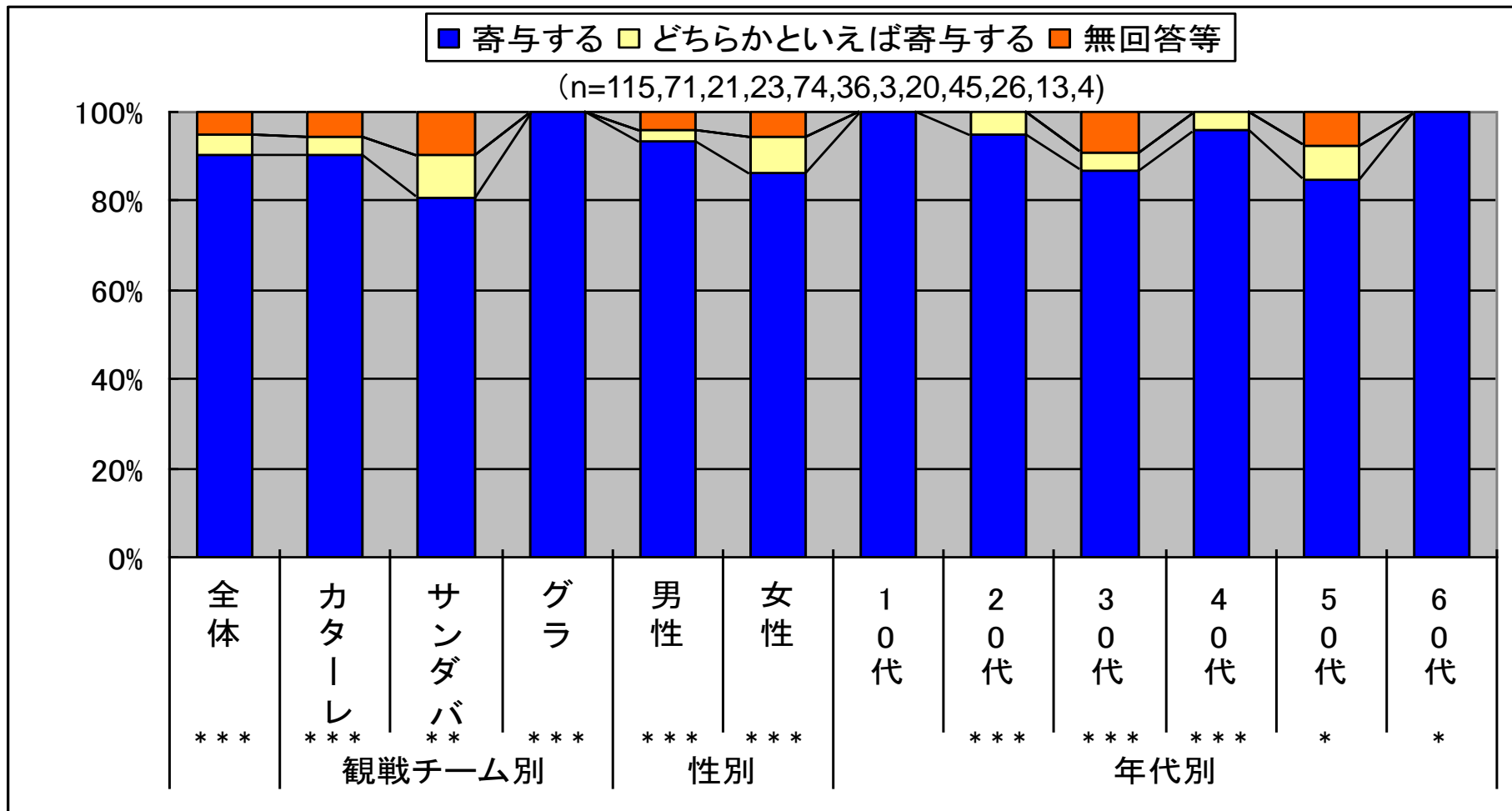


「行いたくない」と無回答等が多い傾向

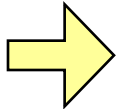


「支える」スポーツの理解が優先

「する」、「見る」、「支える」スポーツの充実が スポーツライフの向上に寄与するかについて

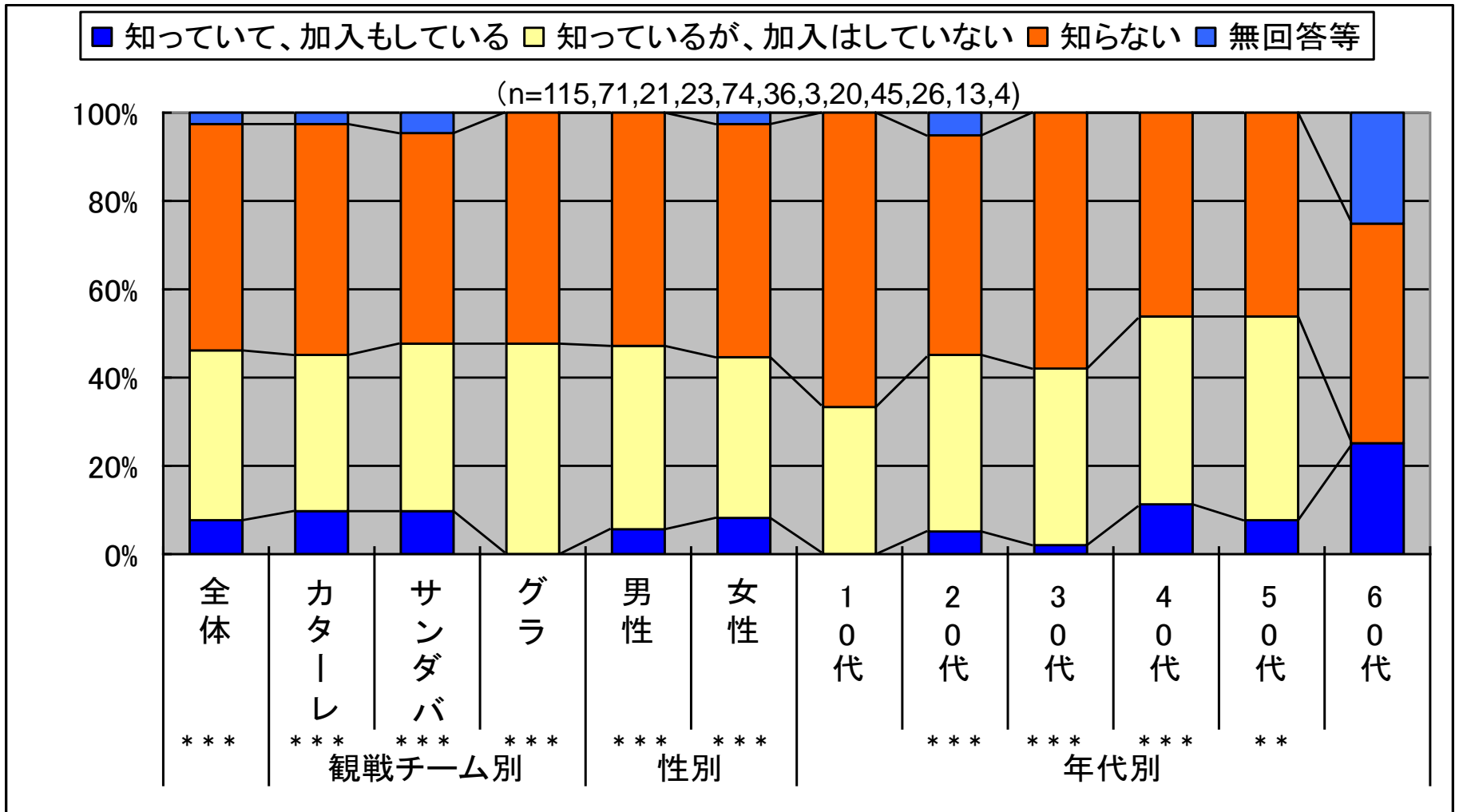


「寄与する」群が
有意に多い
(P<0.001)



プロスポーツと総合型の
連携によって充実させていくべき

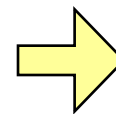
総合型の認知度について



「加入している」が
有意に少ない
($p < 0.001$)

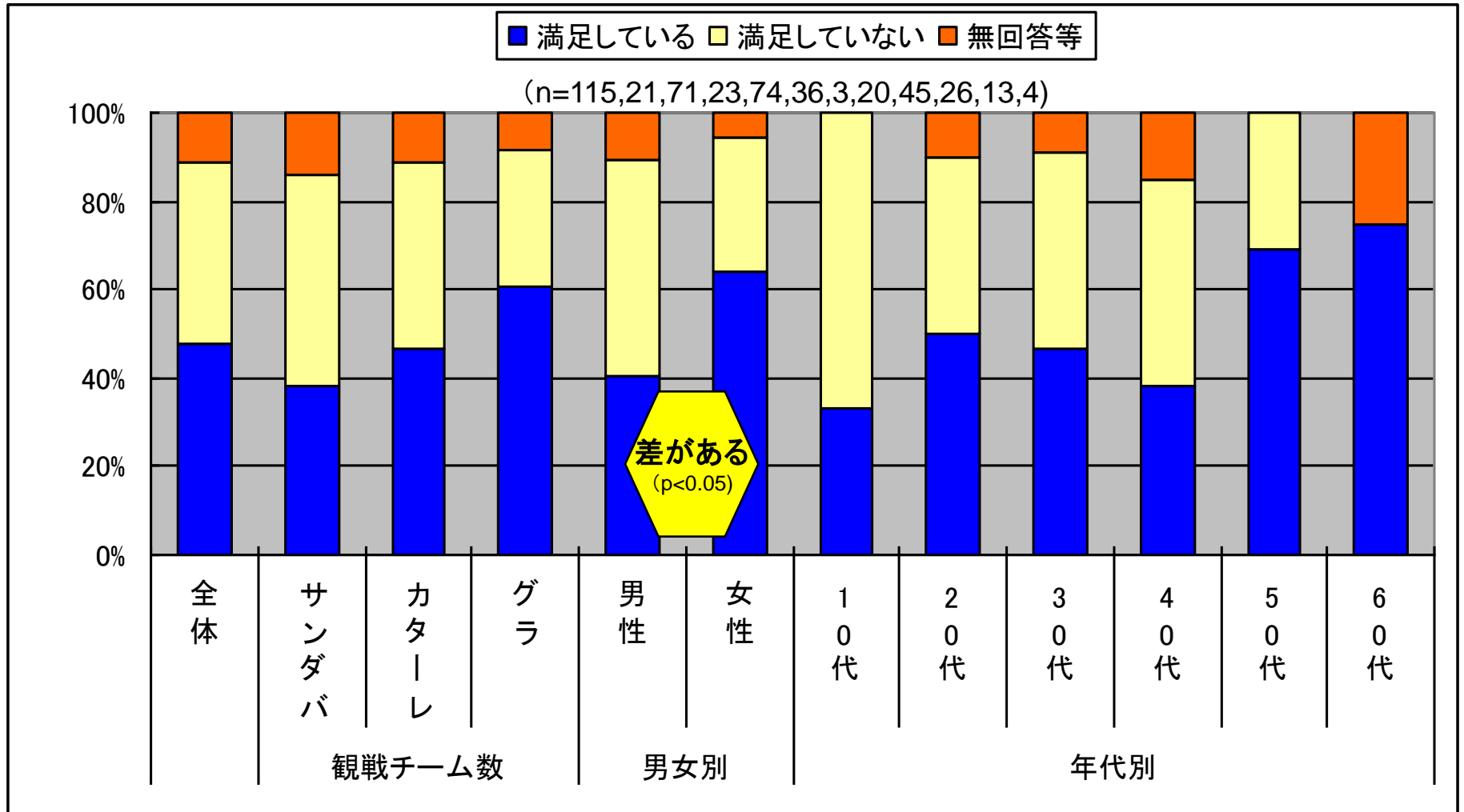


「知らない」が
多い傾向



プロスポーツと
連携したPR

・プロスポーツのプレー以外のパフォーマンスに対する満足度について



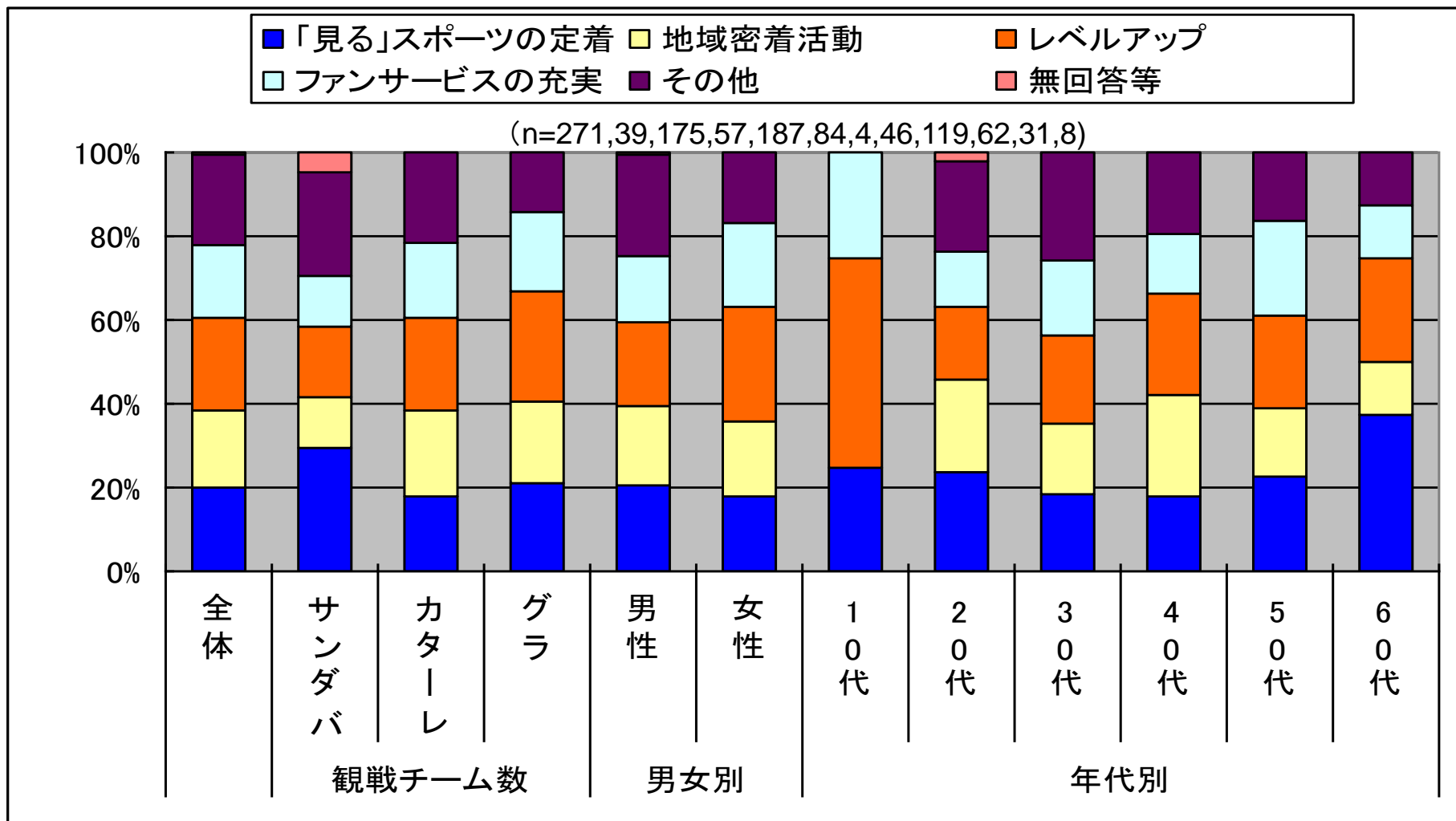
顕著な傾向は
見られない

しかし

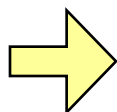
「満足していない」が
40%以上

総合型と連携した
パフォーマンス

観客動員数増加には何が必要かについて

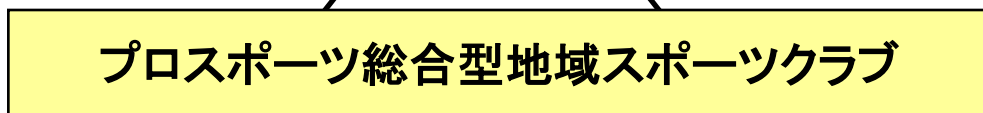


顕著な傾向は
見られない



全項目がまんべんなく必要である

V. まとめ

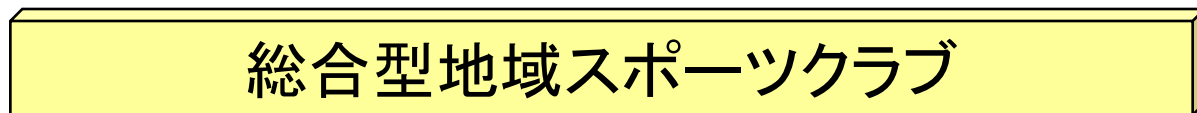


企業・社会人チーム

ユースチーム

部活動(大学、高校、中学校)

スポーツ少年団



観戦者

チーム

スポーツ教室への参加

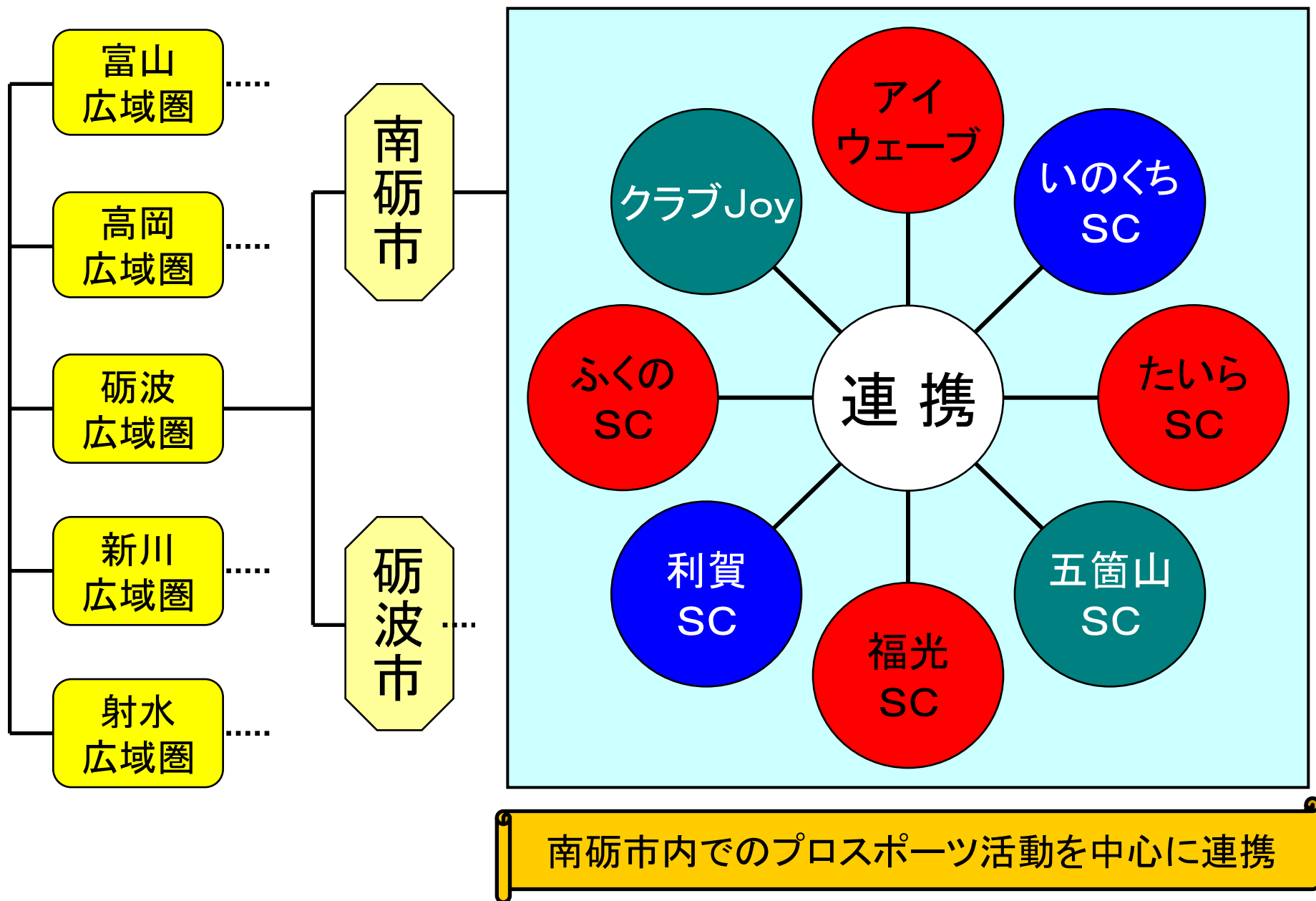
教室開催・行事への参加

セカンドキャリア

県の支援・助成

目標・憧れ

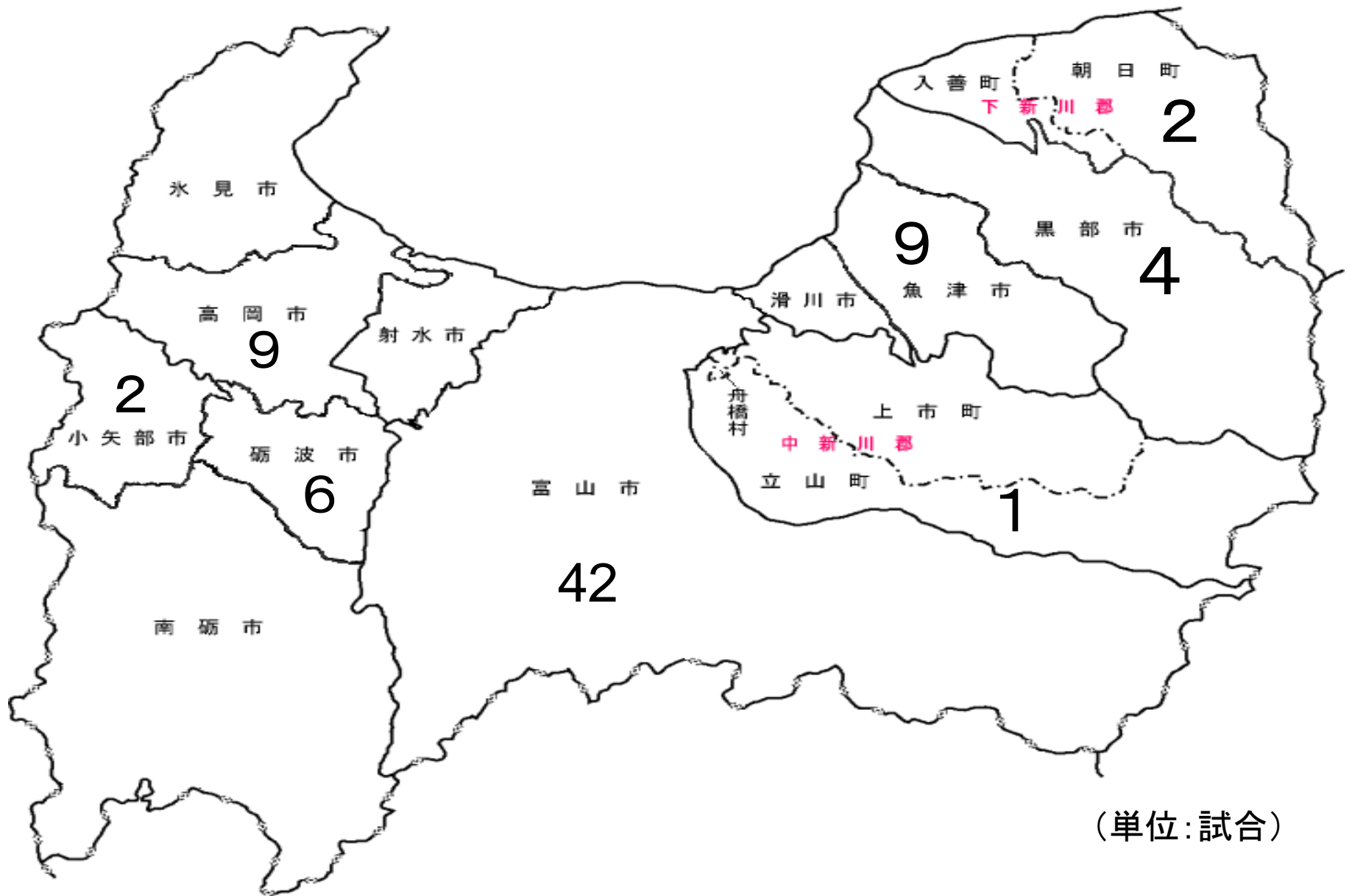
・総合型ネットワーク



・プロスポーツチーム市町村別主催試合数

(単位:試合)

	カターレ 富山	富山 グラウジーズ	富山 サンダーバーズ	合計
富山市	16	10	16	42(56%)
魚津市	1	4	4	9(12%)
高岡市	0	4	5	9(12%)
砺波市	0	0	6	6(8%)
黒部市	0	2	2	4(5%)
小矢部市	0	0	2	2(3%)
朝日町	0	2	0	2(3%)
立山町	0	0	1	1(1%)
合計	17	22	36	75



各市町村に分散させて開催させることが望ましい。

参考文献

- 1) 財団法人日本体育協会:指導者のためのスポーツジャーナル, vol.271, pp.50, 2007.
- 2) 川西正志, 野川春夫:生涯スポーツ実践論ー生涯スポーツを学ぶ人たちにー, p.50-55, 2002.
- 3) 片山孝重, 木村和彦, 浪越一喜:現代スポーツ経営論, pp.142-151, 1999.
- 4) 出村慎一, 小林秀紹, 山次俊介:Excelによる健康・スポーツ科学のためのデータ解析入門, 2001.
- 5) SSF笹川スポーツ財団:スポーツ白書2010 スポーツ・フォー・オールからスポーツ・フォー・エブリワンへ, pp.98-113, pp.124-125, 2001.
- 6) 財団法人全国体育指導委員連合:みんなのスポーツ, 第29巻第9号, pp.15-17, 2007.
- 7) 財団法人全国体育指導委員連合:みんなのスポーツ, 第30巻第9号, pp.12-17, 2007.
- 8) 財団法人全国体育指導委員連合:みんなのスポーツ, 第29巻第3号, pp.24-25, 2007.
- 9) 富山県教育委員会スポーツ課:富山県の体育・スポーツ, pp.151-152, pp.157-160, 2004.
- 10) 富山県教育委員会スポーツ課:生涯スポーツの手引き富山県総合型地域スポーツクラブー生涯スポーツ社会の実現を目指してー, 2006.
- 11) 財団法人日本体育協会:指導者のためのスポーツジャーナル, vol.272, pp.30-31, 2007.
- 12) 財団法人日本体育協会:指導者のためのスポーツジャーナル, vol.350, pp.14-15, 2009.

参考資料

- 1) 富山県教育委員会スポーツ・保健課
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3005/index.html
- 2) 富山県広域スポーツセンター
<http://www.toyama-kouiki.or.jp/>
- 3) 特定非営利活動法人富山スポーツコミュニケーションズ
<http://toyama-sc.typepad.jp/home/>
- 4) 富山サンダーバーズ
<http://www.t-thunderbirds.jp/index.php>
- 5) カターレ富山
<http://www.kataller.co.jp/>
- 6) 富山グラウジーズ
<http://bj-gr.jp/index.html>
- 7) BCリーグ
<http://www.bc-l.jp/>
- 8) JFL
<http://www.jfl-info.net/>
- 9) bjリーグ
<http://www.bj-league.com/bj/Top.do>

ご清聴

有り難うございました。

正式名称「NPO法人 富山スポーツコミュニケーションズ」

「する」、「見る」、「支える」+「話す」、「働く」

する

スクール事業(サッカー中心)

見る

県内プロスポーツ観戦ナビゲーション

Jリーグ観戦ナビゲーション

福祉施設入所者のための観戦支援募金

支える

指導者育成事業

財団法人日本サッカー協会サテライト講座

県全体のスポーツ界を見据えた活動

「NPO法人 GROUSES.NET」

富山から世界に飛ばたくプレーヤーを。

- ・スポーツチームの育成及び運営事業
- ・スポーツ大会参加事業
- ・スポーツ教室事業
- ・指導者派遣事業
- ・学校部活動の支援事業

富山からプロバスケットボールチームを。

- ・スポーツ大会の企画運営事業
- ・スポーツサークルの企画及び運営に関する事業

富山をアツくする多彩な人材を。

- ・スポーツ指導者の養成事業
- ・スポーツNPO研究事業

県内の総合型と連携した活動

・砺波市におけるプロスポーツチームの活動

- ・BCリーグ公式戦 (2008年 6試合)
- ・グラウジーズ キャラバン23 Part6
- ・GROUSES REAGUE (砺波ホークス)

・南砺市

- ・富山グラウジーズ ブラックカーテンゲーム (福野地域)
- ・富山サンダーバーズオープン戦 (城端地域)
- ・GROUSES REAGUE (ふくのスポーツクラブ)
- ・富山サンダーバーズ野球教室 (クラブJoy)
- ・南砺市出身選手ー富山グラウジーズ (1名:福野地域)
- ・南砺市出身選手ー富山サンダーバーズ (1名:福光地域)

・小矢部市

- ・BCリーグ公式戦 (2008年 2試合)
- ・富山サンダーバーズ野球教室 (おやべスポーツクラブ)
- ・カターレ富山「小矢部市の日」
- ・富山グラウジーズバスケットボールクリニック

提携

富山
サンダーバーズ

カターレ
富山

富山
グラウジーズ

- ① プロスポーツチームの指導者による各種教室
- ② 種目にこだわらない教室
- ③ 総合型の既存教室への選手の参加
- ④ 指導者研修会での講師
- ⑤ プロスポーツ観戦ツアーの実施

児童に野球の基本伝授 富山・山室で雷鳥軍団・横田コーチ

(2009年01月20日北日本新聞 朝刊)



横田コーチ（左）からキャッチボールの基礎を学ぶ子どもたち＝山室中部小体育館

富山市山室地区を拠点に活動する総合型地域スポーツクラブ「きらぴか☆スポーツクラブ」（大納登会長）の野球教室が19日、富山サンダーバースの横田久則コーチを講師に迎え、山室中部小学校体育館で開講した。地元プロチームと連携したクラブ運営は、他クラブのモデルケースになると期待される。

（中略）

富山サンダーバースはこれまで独自に教室や単発のクリニックを開いてきたが、地域のクラブと連携した長期間にわたる教室開催は初めて。横田コーチは「チームとして地域に溶け込める上、野球の底辺拡大にもつながる。意義深い取り組みだ」と話した。

同クラブの佐伯忠司企画運営委員長は「プロの指導者に教わると、子どもらの目の色が違う。今後もプロや社会人スポーツチームと連携し、充実した教室を開くことでクラブの特色を打ち出していきたい」と話している。

スポーツ応援バスの運行助成 県、地域団体観戦促す

(2008年2月13日 北日本新聞 朝刊)

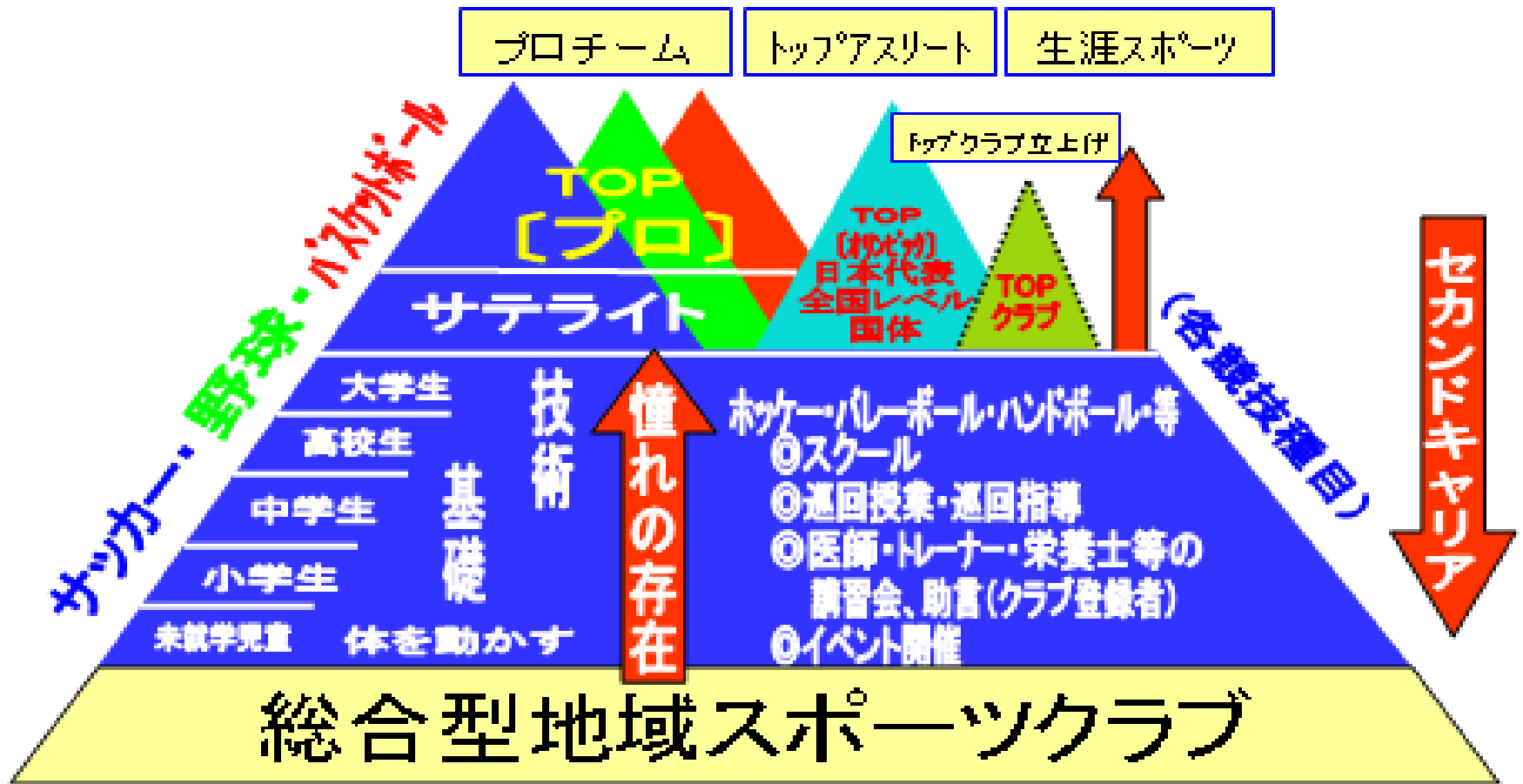
県内プロスポーツチームの試合を観戦するため、地域のスポーツ教室や企業、自治会などが企画する応援バスの運行費に新年度から、県が補助金を出す見通しになった。新制度「ガンバレ富山応援バス」を設け、運行費の半額を助成する。県民が観戦しやすい環境を整え、地域活動を活発化するとともに、各チームの入場者増につなげる。

(中略)

プロスポーツチームを新たな地域資源と考える県は、各チームの支援を通じて県民の元気づくりにつなげようと、団体バスの助成制度を設けることにした。

団体観戦を活発化し、郷土チームを応援する機運を盛り上げ、地域や企業、団体内の交流を盛んにする。新年度予算案に事業費七百八十万円を盛り込む方針を決めている。

富山スポーツプロモーション構想



(平成20年度砺波地区体育指導委員研修会資料より)